

県内市町村等における 公共交通計画の一覧

- 1.高知市「2022高知市地域公共計画」 2022(令和4)年3月
- 2.室戸市「室戸市地域公共交通計画」(令和3年3月)
- 3.南国市「南国市地域公共交通網形成計画」 平成30年7月
- 4.土佐市「土佐市地域公共交通計画」 令和4年3月
- 5.須崎市「須崎市地域公共交通計画」 令和4年3月
- 6.宿毛市「宿毛市地域公共交通計画」 令和4年3月
- 7.土佐清水市「土佐清水市地域公共交通網形成計画」平成31年3月
- 8.四万十市「四万十市地域公共交通網形成計画」平成31年3月
- 9.香南市「香南市地域公共交通計画」令和4年3月
- 10.田野町「田野町地域公共交通計画」(令和4年3月)
- 11.安田町「安田町地域公共交通網形成計画」(平成31年3月)
- 12.本山町「本山町地域公共交通網形成計画」(平成31年3月)
- 13.いの町「いの町地域公共交通計画」(令和4年3月)
- 14.中土佐町「中土佐町地域公共交通網形成計画」(平成31年3月)
- 15.佐川町「佐川町地域公共交通網形成計画」(平成28年3月)
- 16.梶原町「梶原町地域公共交通計画」(令和3年3月)
- 17.津野町「津野町地域公共交通計画」(令和4年3月)
- 18.四万十町「四万十町地域公共交通網形成計画」(令和2年3月)
- 19.大月町「大月町地域公共交通網形成計画」(令和2年3月)
- 20.三原村「三原村地域公共交通計画」(令和4年3月)
- 21.黒潮町「黒潮町地域公共交通計画」(令和4年3月)
- 22.高知県東部「高知県東部広域地域公共交通網形成計画」(令和3年3月)(第2版)
- 23.高知県嶺北地域「高知県嶺北地域公共交通網形成計画」(平成31年3月)

1.高知市「2022高知市地域公共計画」 2022(令和4)年3月

課題	基本方針 (将来像)	目標	施策	評価指標・目標値																																											
<p>◆公共交通の課題</p> <p>すべての公共交通モードにおいて、利用者が年々減少 自治体の運行費補助金が年々増加 慢性的な運転手不足と高齢化 公共交通分担率が5%と低い 地域の実情と利用実態に応じた公共交通体系づくり 公共交通と他の交通との結節機能の強化 環境負荷の少ない公共交通への転換 デジタル化への対応の遅れ 交通事業者の独立採算による経営の限界 公共交通施設の老朽化への対応 路線バスへの不満が高い(分かりやすさ・便数・時刻)</p>	<p>●基本方針</p> <p>市民とともに、支え・育み、 次代へつなぐ公共交通</p>	<p>●目標1【交通体系】 地域公共交通の総合的なネットワークの構築</p> <p>●目標2【利便性・快適性】 利用者ニーズに即した公共交通サービスの提供</p> <p>●目標3【交通弱者対策】 すべての人が利用できる公共交通環境の形成</p> <p>●目標4【利用促進】 事業者・行政・市民の積極的な利用促進</p>	<p>目標1 地域公共交通の総合的なネットワークの構築</p> <table border="1"> <tr> <td>施策1 総合的な地域公共交通ネットワークの構築</td> <td>事業1 地域ぐるみで支える仕組みづくり 事業2 バス路線の再編 事業3 鉄道を活用した広域幹線の機能強化 事業4 コミュニティ交通の導入</td> </tr> <tr> <td>施策2 交通結節機能の強化</td> <td>事業5 交通結節ポイントの機能強化</td> </tr> </table> <p>目標2 利用者ニーズに即した公共交通サービスの提供</p> <table border="1"> <tr> <td>施策3 利便性の高い運行サービスの提供</td> <td>事業6 運行ダイヤ・運行便数・運賃等の見直し</td> </tr> <tr> <td>施策4 サイクルアンドライド・パークアンドライドの推進</td> <td>事業7 サイクルアンドライドの推進 事業8 パークアンドライドの推進</td> </tr> </table> <p>目標3 すべての人が利用できる公共交通環境の形成</p> <table border="1"> <tr> <td>施策5 生活交通の確保・維持</td> <td>事業9 バス路線の確保・維持 事業10 乗合タクシーの確保・維持</td> </tr> <tr> <td>施策6 バリアフリー・ユニバーサルデザインの推進</td> <td>事業11 バス停・電停等の利用環境の改善 事業12 バス・電車車両の改善</td> </tr> </table> <p>目標4 事業者、行政、市民の積極的な利用促進</p> <table border="1"> <tr> <td>施策7 利用促進・広報活動の実施</td> <td>事業13 路面電車を活かした魅力づくり 事業14 多様な情報サービスの提供 事業15 イベント等における広報活動</td> </tr> </table>	施策1 総合的な地域公共交通ネットワークの構築	事業1 地域ぐるみで支える仕組みづくり 事業2 バス路線の再編 事業3 鉄道を活用した広域幹線の機能強化 事業4 コミュニティ交通の導入	施策2 交通結節機能の強化	事業5 交通結節ポイントの機能強化	施策3 利便性の高い運行サービスの提供	事業6 運行ダイヤ・運行便数・運賃等の見直し	施策4 サイクルアンドライド・パークアンドライドの推進	事業7 サイクルアンドライドの推進 事業8 パークアンドライドの推進	施策5 生活交通の確保・維持	事業9 バス路線の確保・維持 事業10 乗合タクシーの確保・維持	施策6 バリアフリー・ユニバーサルデザインの推進	事業11 バス停・電停等の利用環境の改善 事業12 バス・電車車両の改善	施策7 利用促進・広報活動の実施	事業13 路面電車を活かした魅力づくり 事業14 多様な情報サービスの提供 事業15 イベント等における広報活動	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">数値指標</th> <th>基準値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">基本目標1</td> <td>公共交通カバース率</td> <td>89% (R元年度)</td> <td>基準値以上 (R8年度)</td> </tr> <tr> <td>路線バス事業 収支率</td> <td>63.9% (R元年度)</td> <td>基準値以上 (R8年度)</td> </tr> <tr> <td>乗合タクシー事業 収支率</td> <td>12.4% (R元年度)</td> <td>基準値以上 (R8年度)</td> </tr> <tr> <td>基本目標2</td> <td>運行便数</td> <td>987回 (R元年度)</td> <td>現状水準を維持 (R8年度)</td> </tr> <tr> <td>基本目標3</td> <td>公的資金投入額</td> <td>283,083千円 (R元年度)</td> <td>現状水準を維持 (R8年度)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">基本目標4</td> <td>まちなかの電停・ バス停の利用者数</td> <td>342.09万人 (R元年度)</td> <td>基準値以上 (R8年度)</td> </tr> <tr> <td>乗合タクシー 利用者数</td> <td>35,520人 (R元年度)</td> <td>基準値以上 (R8年度)</td> </tr> </tbody> </table>	数値指標		基準値	目標値	基本目標1	公共交通カバース率	89% (R元年度)	基準値以上 (R8年度)	路線バス事業 収支率	63.9% (R元年度)	基準値以上 (R8年度)	乗合タクシー事業 収支率	12.4% (R元年度)	基準値以上 (R8年度)	基本目標2	運行便数	987回 (R元年度)	現状水準を維持 (R8年度)	基本目標3	公的資金投入額	283,083千円 (R元年度)	現状水準を維持 (R8年度)	基本目標4	まちなかの電停・ バス停の利用者数	342.09万人 (R元年度)	基準値以上 (R8年度)	乗合タクシー 利用者数	35,520人 (R元年度)	基準値以上 (R8年度)
施策1 総合的な地域公共交通ネットワークの構築	事業1 地域ぐるみで支える仕組みづくり 事業2 バス路線の再編 事業3 鉄道を活用した広域幹線の機能強化 事業4 コミュニティ交通の導入																																														
施策2 交通結節機能の強化	事業5 交通結節ポイントの機能強化																																														
施策3 利便性の高い運行サービスの提供	事業6 運行ダイヤ・運行便数・運賃等の見直し																																														
施策4 サイクルアンドライド・パークアンドライドの推進	事業7 サイクルアンドライドの推進 事業8 パークアンドライドの推進																																														
施策5 生活交通の確保・維持	事業9 バス路線の確保・維持 事業10 乗合タクシーの確保・維持																																														
施策6 バリアフリー・ユニバーサルデザインの推進	事業11 バス停・電停等の利用環境の改善 事業12 バス・電車車両の改善																																														
施策7 利用促進・広報活動の実施	事業13 路面電車を活かした魅力づくり 事業14 多様な情報サービスの提供 事業15 イベント等における広報活動																																														
数値指標		基準値	目標値																																												
基本目標1	公共交通カバース率	89% (R元年度)	基準値以上 (R8年度)																																												
	路線バス事業 収支率	63.9% (R元年度)	基準値以上 (R8年度)																																												
	乗合タクシー事業 収支率	12.4% (R元年度)	基準値以上 (R8年度)																																												
基本目標2	運行便数	987回 (R元年度)	現状水準を維持 (R8年度)																																												
基本目標3	公的資金投入額	283,083千円 (R元年度)	現状水準を維持 (R8年度)																																												
基本目標4	まちなかの電停・ バス停の利用者数	342.09万人 (R元年度)	基準値以上 (R8年度)																																												
	乗合タクシー 利用者数	35,520人 (R元年度)	基準値以上 (R8年度)																																												

2.室戸市「室戸市地域公共交通計画」(令和3年3月)

課題	基本方針 (将来像)	目標	施策	評価指標・目標値																																
<ul style="list-style-type: none"> ・住み慣れた土地で生活を維持できるための移動サービスの充実 ・既存の商店と移動手段の連携 ・医療機関への通院手段の改善 ・国道55号及び県道202号線における交通事故対策 ・自動車運転免許証の返納に関する説明 ・公共交通空白地区の解消 ・不安を持つ市民の把握 ・現況の路線に関する広報の拡充 ・現況の運行ダイヤに関する広報の拡充 ・生活者(市民)向けのお得な運賃制度の検討 ・停留所掲示物の情報整理 ・外国からの来訪者に向けた情報の多言語化 ・ホームページによる本市の公共交通情報の一元化 ・ホームページによる情報発信の改善 ・集客施設への高知東部バスロケモニターの設置 ・通学便として路線バスの活用検討 ・カーブミラーの設置など改善策の実施 ・バス停留所の移設も含めた対応策の検討 ・市民に対する事故予防の啓発・広報 ・バス利用者に対する安全確保の啓発・広報 ・市内での消費に誘導する魅力と利便性向上 ・移動ニーズを反映した公共交通ネットワークの構築 ・公共交通に関する情報の体系的な発信 ・実際の公共交通を利用する機会の創出 ・地域の移動ニーズを常に反映して変化する公共交通 	<p>将来像</p> <p>『新しい公共交通ネットワークの支えにより、市民は住み慣れた場所での暮らしを安心して続けられ、来訪者は室戸での滞在を心から楽しむことができる。』</p> <p>●基本方針1 誰もが使いやすく持続する公共交通ネットワークの構築</p> <p>●基本方針2 地域を挙げて取り組む公共交通利用促進</p> <p>●基本方針3 移動の目的と公共交通の連携</p> <p>●基本方針4 地域の交通安全の推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 目標01：全ての市民が移動手段を確保 ✓ 目標02：便利で利用しやすい公共交通ネットワーク ✓ 目標03：柔軟に持続する公共交通ネットワーク ✓ 目標04：公共交通ネットワークの客観的指標による管理 ✓ 目標05：人が集まり活気がよみがえるまち ✓ 目標06：来訪者にもやさしい公共交通ネットワーク ✓ 目標07：地域の交通安全の確保 	<p>●基本方針1</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施策1-1：公共交通空白地区の解消 ・施策1-2：快適に利用できる待合所(交通結節点)の整備 ・施策1-3：定期的な運行の見直し ・施策1-4：通学手段としての路線バス活用 ・施策1-5：福祉輸送の活用 ・施策1-6：利用しやすい運賃体系の構築 <p>●基本方針2</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施策2-1：公共交通に関する定期的な説明と意見交換 ・施策2-2：地域公共交通に関する情報の集約と発信 ・施策2-3：停留所掲示物の情報充実 ・施策2-4：情報の多言語化とITSの活用 ・施策2-5：バス乗り方教室の開催 ・施策2-6：公共交通の利用につなげるイベント出展 ・施策2-7：乗務員確保につなげる連携 <p>●基本方針3</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施策3-1：量販店と公共交通ネットワークの連携 ・施策3-2：医療機関と公共交通の連携 ・施策3-3：観光と公共交通の連携 ・施策3-4：市民のおでかけイベントの開催 <p>●基本方針4</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施策4-1：パークアンドライドの構築 ・施策4-2：運転免許の自主返納に関する情報発信 ・施策4-3：バス利用者の安全確保 ・施策4-4：公共交通の周辺交通に対する安全確保 	<ul style="list-style-type: none"> ・1：市内の公共交通利用者数の検証 <table border="1"> <thead> <tr> <th>現況値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>路線バス : 37,207人 フィーダー路線 : -人</td> <td>路線バス : 37,207人 フィーダー路線 : 4,234人</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・2：市内の公共交通に係る公的負担額及び収支率の検証 <table border="1"> <thead> <tr> <th>現況値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>■ 路線バス 公的負担額：39,973千円 収支率：29.4% ■ フィーダー路線 公的負担額：-円 収支率：-%</td> <td>■ 路線バス 公的負担額：39,973千円 収支率：29.4% ■ フィーダー路線 公的負担額：-円 収支率：-%</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・3：拠点における路線バス乗降者数による検証 <table border="1"> <thead> <tr> <th>現況値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>9,848人 (乗車：4,883人、降車：4,965人)</td> <td>9,848人を維持</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・4：停留所及び情報サイトの多言語化 <table border="1"> <thead> <tr> <th>現況値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0カ所</td> <td>令和4年9月：13カ所 以降、適正な管理に努める</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・5：「ICカードですか」の所持者数が増加する <table border="1"> <thead> <tr> <th>現況値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1,150枚(令和2年10月時点) 大人カード：675枚 小児カード：28枚 ナイスエイジ：447枚</td> <td>令和3年9月：1,265枚 令和4年9月：1,391枚 令和5年9月：1,530枚 令和6年9月：1,683枚 令和7年9月：1,851枚</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・6：室戸中心部における乗降者数が増加する <table border="1"> <thead> <tr> <th>現況値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>路線バス：10,544人 (乗車：5,070人、降車：5,474人) フィーダー路線：-人 (乗車：-人、降車：-人)</td> <td>令和3年度の実績を踏まえて、令和4年6月にフィーダー路線の数値を含め、改めて算出する。</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・7：観光地最寄り停留所の乗降者数が増加する <table border="1"> <thead> <tr> <th>現況値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>路線バス：13,973人 (乗車：7,230人、降車：6,743人) フィーダー路線：-人 (乗車：-人、降車：-人)</td> <td>令和3年度の実績を踏まえて、令和4年6月にフィーダー路線の数値を含め、改めて算出する。</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・8：自動車運転免許証を返納する例が増加する <table border="1"> <thead> <tr> <th>現況値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>68人(令和2年)</td> <td>令和3年：75人 令和4年：83人 令和5年：91人 令和6年：100人 令和7年：110人</td> </tr> </tbody> </table>	現況値	目標値	路線バス : 37,207人 フィーダー路線 : -人	路線バス : 37,207人 フィーダー路線 : 4,234人	現況値	目標値	■ 路線バス 公的負担額：39,973千円 収支率：29.4% ■ フィーダー路線 公的負担額：-円 収支率：-%	■ 路線バス 公的負担額：39,973千円 収支率：29.4% ■ フィーダー路線 公的負担額：-円 収支率：-%	現況値	目標値	9,848人 (乗車：4,883人、降車：4,965人)	9,848人を維持	現況値	目標値	0カ所	令和4年9月：13カ所 以降、適正な管理に努める	現況値	目標値	1,150枚(令和2年10月時点) 大人カード：675枚 小児カード：28枚 ナイスエイジ：447枚	令和3年9月：1,265枚 令和4年9月：1,391枚 令和5年9月：1,530枚 令和6年9月：1,683枚 令和7年9月：1,851枚	現況値	目標値	路線バス：10,544人 (乗車：5,070人、降車：5,474人) フィーダー路線：-人 (乗車：-人、降車：-人)	令和3年度の実績を踏まえて、令和4年6月にフィーダー路線の数値を含め、改めて算出する。	現況値	目標値	路線バス：13,973人 (乗車：7,230人、降車：6,743人) フィーダー路線：-人 (乗車：-人、降車：-人)	令和3年度の実績を踏まえて、令和4年6月にフィーダー路線の数値を含め、改めて算出する。	現況値	目標値	68人(令和2年)	令和3年：75人 令和4年：83人 令和5年：91人 令和6年：100人 令和7年：110人
現況値	目標値																																			
路線バス : 37,207人 フィーダー路線 : -人	路線バス : 37,207人 フィーダー路線 : 4,234人																																			
現況値	目標値																																			
■ 路線バス 公的負担額：39,973千円 収支率：29.4% ■ フィーダー路線 公的負担額：-円 収支率：-%	■ 路線バス 公的負担額：39,973千円 収支率：29.4% ■ フィーダー路線 公的負担額：-円 収支率：-%																																			
現況値	目標値																																			
9,848人 (乗車：4,883人、降車：4,965人)	9,848人を維持																																			
現況値	目標値																																			
0カ所	令和4年9月：13カ所 以降、適正な管理に努める																																			
現況値	目標値																																			
1,150枚(令和2年10月時点) 大人カード：675枚 小児カード：28枚 ナイスエイジ：447枚	令和3年9月：1,265枚 令和4年9月：1,391枚 令和5年9月：1,530枚 令和6年9月：1,683枚 令和7年9月：1,851枚																																			
現況値	目標値																																			
路線バス：10,544人 (乗車：5,070人、降車：5,474人) フィーダー路線：-人 (乗車：-人、降車：-人)	令和3年度の実績を踏まえて、令和4年6月にフィーダー路線の数値を含め、改めて算出する。																																			
現況値	目標値																																			
路線バス：13,973人 (乗車：7,230人、降車：6,743人) フィーダー路線：-人 (乗車：-人、降車：-人)	令和3年度の実績を踏まえて、令和4年6月にフィーダー路線の数値を含め、改めて算出する。																																			
現況値	目標値																																			
68人(令和2年)	令和3年：75人 令和4年：83人 令和5年：91人 令和6年：100人 令和7年：110人																																			

3.南国市「南国市地域公共交通網形成計画」 平成30年7月

課題	基本方針 (将来像)	目標	施策	評価指標・目標値
<ul style="list-style-type: none"> （１）住民・公共交通事業者・行政の連携による公共交通利用の維持と市の負担増 （２）効率的で効果的な公共交通体系の構築が必要 （３）まちづくりと公共交通体系との一体的な展開が必要 （４）観光振興に資する公共交通ネットワークが未構築 （５）市民・交通事業者・行政による推進体制の強化が必要 	<p>将来像 誰もが安心して心豊かに過ごすことのできるまちを支える持続可能な公共交通</p> <p>●基本方針 1 地域を支える利便性が高く持続可能な公共交通</p> <p>●基本方針 2 まちづくりと連携し、地域の魅力や活力を高め、ひとの交流を促す公共交通</p> <p>●基本方針 3 地域との連携による公共交通の利用促進</p>	<p>基本方針 1</p> <ul style="list-style-type: none"> ●【目標1】 社会の変化に応じた公共交通ネットワークの構築 ●【目標2】 交通空白地域における移動手段の確保 <p>基本方針 2</p> <ul style="list-style-type: none"> ●【目標1】 中心拠点や地域拠点への公共交通による来訪促進 ●【目標2】 観光客に対する情報提供とサービス向上 <p>基本方針 3</p> <ul style="list-style-type: none"> ●【目標1】 公共交通に対する認知度向上と理解促進 ●【目標2】 公共交通利用促進策の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ●基本方針 1、目標 1 ・事業① 収支率・乗車密度を踏まえた路線の見直し ・事業② 交通モードの変更 ・事業③ 重複区間におけるダイヤや運行形態の見直し ・事業④ 交通結節点における乗継改善 ●基本方針 1、目標 2 ・事業① 中心拠点及び地域拠点と集落を結ぶ最適な交通手段の検討 ●基本方針 2、目標 1 ・事業① 中心拠点へのバスサービスの改善 ・事業② 交通結節点の機能強化及び整備 ・事業③ 広域的な高速交通体系の活用 ●基本方針 2、目標 2 ・事業① 観光客への情報提供 ・事業② 観光地へのアクセス改善 ●基本方針 3、目標 1 ・事業① 公共交通に関する情報発信 ・事業② 地域との積極的な対話の実施 ●基本方針 3、目標 2 ・事業① 地域と協働で取り組む公共交通利用促進 ・事業② 公共交通の運行見直し手順の作成 	<p>■公共交通の利用者数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・立地適正化計画における中心拠点の居住誘導区域（現在検討段階）内の駅・電停・バス停の年間利用者数【現状維持】 ・市内を運行するバス路線3路線の年間利用者数（ICカード利用）【現状維持】 ・市北部デマンド型乗合タクシーの年間利用者数乗合タクシー【1割増】 <p>■基本方針 1、目標 1</p> <ul style="list-style-type: none"> ・路線バスに対する市の負担額【6,800万円（H29）⇒6,000万円（2022）】 <p>■基本方針 2、目標 1</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基幹公共交通軸設定区間における乗客数【現状維持】 <p>■基本方針 3、目標 1</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公共交通に関する住民との意見交換会の開催数【年1回】 <p>■基本方針 3、目標 2</p> <ul style="list-style-type: none"> ・モビリティ・マネジメントの実施 <ul style="list-style-type: none"> ⇒啓発冊子の発行【1版】 ⇒公共交通利用促進授業の開催【年1回】

4.土佐市「土佐市地域公共交通計画」 令和4年3月

課題	基本方針 (将来像)	目標	施策	評価指標・目標値
<p>課題 1</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内を効果的、効率的に結ぶ公共交通ネットワークの構築 <p>課題 2</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利便性が高く持続可能な公共交通の確保 <p>課題 3</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公共交通利用に関する情報提供、利用満足度の向上 <p>課題 4</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用したくなる環境づくりによる社会参加の支援 <p>課題 5</p> <ul style="list-style-type: none"> ・過度な自家用車利用の抑制支援 	<p>将来像 ～暮らして良かったまち土佐市～の実現に向けて健康で快適な暮らしを支える、利便性が高く持続可能な地域公共交通を構築します。</p> <p>●基本方針 1 便利で「使われる」地域公共交通体系の構築</p> <p>●基本方針 2 利用しやすい公共交通環境の整備</p> <p>●基本方針 3 市民の社会参加やまちづくりに貢献する地域公共交通の整備</p>	<p>基本方針 1</p> <ul style="list-style-type: none"> ●1-1 ネットワークの維持機能強化 ●1-2 交通不便地域の縮小 ●1-3 利用状況に応じた効率的な運行 <p>基本方針 2</p> <ul style="list-style-type: none"> ●2-1 公共交通利用に関する情報提供 ●2-2 公共交通の利用啓発の推進 <p>基本方針 3</p> <ul style="list-style-type: none"> ●3-1 地域、交通事業者、市の協働による公共交通の維持 ●3-2 将来のまちづくりと連動した戦略的な路線の検討 ●3-3 まちなか循環の検討 	<ul style="list-style-type: none"> ●1-1 ・事業① 宇佐線の再編 特 ・事業② バス路線の役割設定 ・事業③ 既存路線ネットワークの維持・機能強化（特） ●1-2 ・事業④ 地域内交通の導入に向けた検討（特） ・事業⑤ 実証運行の検討 ●1-3 ・事業⑥ 乗継拠点の整備 特 ・事業⑦ 乗継割引、運賃制度の検討 特 ●2-1 ・事業⑧ バスロケーションシステムの利活用（特） ・事業⑨ ICカードの利用拡大 ・事業⑩ モビリティ・マネジメントの実施 ●2-2 ・事業⑪ バスの利用促進 ・事業⑫ 施設やイベントとの連携 ●3-1 ・事業⑬ 事業者関連携 ●3-2 ・事業⑭ 将来のまちづくりと連動した戦略的な路線の検討 ●3-3 ・事業⑮ まちなか循環線の検討 	<p>■基本方針 1</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Ⅰ. 主要幹線バス（高岡線、宇佐線、須崎・高岡西芝線）年間利用者数、年間収支率、公的負担金【現状維持】 ・Ⅱ. ドラゴンバス年間利用者数、年間収支率、公的負担金【現状維持】 ・Ⅲ. 新たな地域内交通の導入実証運行を行った地区数【0地区(R.3)⇒1地区(R.8)】 ・Ⅳ. 待合・乗継環境の改善上屋、ベンチの新規設置数【2箇所(R.3)⇒7箇所(R.8)】 ・Ⅴ. 公共交通の市民満足度公共交通が充実していると思う市民割合【10.6%(H.30)⇒20.0%(R.8)】 <p>■基本方針 2</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Ⅰ. バスロケーションシステムの利活用QRコードの設置数【0箇所(R.3)⇒148箇所(R.8)】 ・Ⅱ. 公共交通に係る勉強会やイベント(乗り方教室・バスロケ説明会)実施回数【0回(R.3)⇒1回(R.8)】

5.須崎市「須崎市地域公共交通計画」 令和4年3月

課題	基本方針 (将来像)	施策	評価指標・目標値																								
<p>地域公共交通を取り巻く課題</p> <ul style="list-style-type: none"> 買い物・通院の際の移動手段の確保 通学・通園の際の移動手段の確保 地域の実情に応じた公共交通サービスの提供 観光資源と連携した公共交通体系の構築 地域公共交通の相互連携による利便性の強化（MaaSの取組み） 公共交通の利便性向上による自家用車利用から公共交通利用への転換 	<p>基本理念 誰もが移動しやすく、活力あるまちづくりの基盤となり、未来へつなぐ公共交通ネットワークの実現</p> <p>基本方針</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域公共交通の接続強化による利便性の高い交通体系の構築 地域輸送資源の総動員による持続可能な環境の提供 地域住民主体の取組の推進 観光需要を取り込むための観光地までの公共交通網の整備 運行状況・乗り継ぎ情報等、情報発信の一元化 多様な移動手段を適度に利用していく仕組みづくり 	<ul style="list-style-type: none"> 事業1 広域交通の利用促進 事業2 地域間路線（路線バス）の維持 事業3 地域内路線の再編及び活用法の検討 事業4 フィーダー交通（補完交通）の見直し・強化 事業5 交通結節点の機能整備 事業6 観光と連携した交通体系の構築 事業7 利用しやすく、利用したいと感じる環境の提供 事業8 モビリティ・マネジメントの取組 	<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="1628 258 1878 338">指標</th> <th data-bbox="1878 258 2255 338">定義</th> <th data-bbox="2255 258 2421 338">現況値 (令和2年度)</th> <th data-bbox="2421 258 2596 338">目標値 (令和8年度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="1628 338 1878 449">①公共交通利用者数</td> <td data-bbox="1878 338 2255 449"> <ul style="list-style-type: none"> 1日あたりの鉄道駅利用者数 地域間路線の年間利用者数 地域内路線の年間利用者数 </td> <td data-bbox="2255 338 2421 449">740人/日 57,940人※ 22,344人</td> <td data-bbox="2421 338 2596 449">754人/日 59,025人 22,762人</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1628 449 1878 560">②収支率</td> <td data-bbox="1878 449 2255 560"> <ul style="list-style-type: none"> 地域間路線の収支率（路線バス） 地域内路線の収支率（市営バス、スクールバス（混乗便）、市営巡航船） </td> <td data-bbox="2255 449 2421 560">44.7% 11.7%</td> <td data-bbox="2421 449 2596 560">45.5% 11.9%</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1628 560 1878 631">③移動困難者の割合</td> <td data-bbox="1878 560 2255 631"> <ul style="list-style-type: none"> 外出したいときに外出ができず困っている人の割合 </td> <td data-bbox="2255 560 2421 631">6.0%</td> <td data-bbox="2421 560 2596 631">5.0%以下</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1628 631 1878 701">④交通結節点の機能整備</td> <td data-bbox="1878 631 2255 701"> <ul style="list-style-type: none"> 交通結節点の整備及び機能強化 </td> <td data-bbox="2255 631 2421 701">0か所</td> <td data-bbox="2421 631 2596 701">5か所</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1628 701 1878 772">⑤観光拠点への公共交通の乗入れ</td> <td data-bbox="1878 701 2255 772"> <ul style="list-style-type: none"> 浦ノ内地区の観光施設への公共交通の乗入れ </td> <td data-bbox="2255 701 2421 772">0か所</td> <td data-bbox="2421 701 2596 772">1か所</td> </tr> </tbody> </table> <p>・浦ノ内地区の観光施設への公共交通の乗入れ 現在値（令和2年度）：0か所 目標値（令和8年度）：1か所</p>	指標	定義	現況値 (令和2年度)	目標値 (令和8年度)	①公共交通利用者数	<ul style="list-style-type: none"> 1日あたりの鉄道駅利用者数 地域間路線の年間利用者数 地域内路線の年間利用者数 	740人/日 57,940人※ 22,344人	754人/日 59,025人 22,762人	②収支率	<ul style="list-style-type: none"> 地域間路線の収支率（路線バス） 地域内路線の収支率（市営バス、スクールバス（混乗便）、市営巡航船） 	44.7% 11.7%	45.5% 11.9%	③移動困難者の割合	<ul style="list-style-type: none"> 外出したいときに外出ができず困っている人の割合 	6.0%	5.0%以下	④交通結節点の機能整備	<ul style="list-style-type: none"> 交通結節点の整備及び機能強化 	0か所	5か所	⑤観光拠点への公共交通の乗入れ	<ul style="list-style-type: none"> 浦ノ内地区の観光施設への公共交通の乗入れ 	0か所	1か所
指標	定義	現況値 (令和2年度)	目標値 (令和8年度)																								
①公共交通利用者数	<ul style="list-style-type: none"> 1日あたりの鉄道駅利用者数 地域間路線の年間利用者数 地域内路線の年間利用者数 	740人/日 57,940人※ 22,344人	754人/日 59,025人 22,762人																								
②収支率	<ul style="list-style-type: none"> 地域間路線の収支率（路線バス） 地域内路線の収支率（市営バス、スクールバス（混乗便）、市営巡航船） 	44.7% 11.7%	45.5% 11.9%																								
③移動困難者の割合	<ul style="list-style-type: none"> 外出したいときに外出ができず困っている人の割合 	6.0%	5.0%以下																								
④交通結節点の機能整備	<ul style="list-style-type: none"> 交通結節点の整備及び機能強化 	0か所	5か所																								
⑤観光拠点への公共交通の乗入れ	<ul style="list-style-type: none"> 浦ノ内地区の観光施設への公共交通の乗入れ 	0か所	1か所																								

6.宿毛市「宿毛市地域公共交通計画」 令和4年3月

課題	基本方針 (将来像)	目標	施策	評価指標・目標値
<ul style="list-style-type: none"> 誰もが利便性を享受できる公共交通網 人の集まりと整合のとれた運行により、宿毛市での生活を楽しむことを支える公共交通網 利用者の移動ニーズに即した変化をしながらも、いつまでも市民の移動手段として持続する公共交通網 身体の不自由な人や子ども、高齢者、どのような人にも優しく、そしてわかりやすい公共交通網 	<p>将来像</p> <ul style="list-style-type: none"> 市民みんなが、何かしら移動手段を持ち、「生活を維持するため」、「楽しみのため」などに出かけられることで、宿毛市での生活を楽しむことができる。 まちづくりと一体になった公共交通網のおかげで、市民がその都度移動手段を選択しながら出かけられる。 来訪者が宿毛市での活動を、移動手段にストレスを感じることなく楽しむことができる。 <p>●基本方針1 利便性の高い公共交通網の実現</p> <p>●基本方針2 まちづくりと連携した公共交通網の実現</p> <p>●基本方針3 いつまでも持続する公共交通網の実現</p> <p>●基本方針4 人にやさしい公共交通網の実現</p>	<p>基本方針1</p> <ul style="list-style-type: none"> ●【目標1】コミュニティバスの基幹路線及び鉄道との接続回数 ●【目標2】コミュニティバスの定着 <p>基本方針2</p> <ul style="list-style-type: none"> ●【目標3】中心市街地を回遊する利用者の増加 <p>●基本方針3</p> <ul style="list-style-type: none"> ●【目標4】利用者との意見交換会の開催 <p>基本方針4</p> <ul style="list-style-type: none"> ●【目標5】外出支援を促すミニイベントの開催 	<p>●基本方針1</p> <ul style="list-style-type: none"> 事業① 公共交通空白地区の解消 事業② 公共の乗り物のネットワーク化 事業③ 運行事業者とともに取り組む利便性向上 事業④ 利用しやすい運賃設定 <p>●基本方針2</p> <ul style="list-style-type: none"> 事業① 中心市街地の回遊性向上 事業② 観光まちづくりとの連携 事業③ 子どもたちの公共交通利用機会創出 <p>●基本方針3</p> <ul style="list-style-type: none"> 事業① 公共交通網の維持 事業② 地域で支える公共交通網 事業③ 利用促進につなげる啓発 <p>●基本方針4</p> <ul style="list-style-type: none"> 事業① 福祉との連携 事業② 利用しやすい公共交通網の構築 	<p>■基本方針1、目標1</p> <ul style="list-style-type: none"> コミュニティバスが鉄道及び路線バスと20分以内に接続する回数（1日当たり）【現状維持】 <p>■基本方針1、目標2</p> <ul style="list-style-type: none"> コミュニティバス利用者数【現状維持】 <p>■基本方針2、目標3</p> <ul style="list-style-type: none"> 中心部のコミュニティバス利用者数【現状維持】 <p>■基本方針3、目標4</p> <ul style="list-style-type: none"> 公共交通利用者を対象とした意見交換会を年間6回以上【年6回以上開催(H29年以降)】 <p>■基本方針4、目標5</p> <ul style="list-style-type: none"> 高齢者を対象としたミニイベントと年間6回以上連携【年6回以上連携(H29年以降)】

7.土佐清水市「土佐清水市地域公共交通網形成計画」平成31年3月

課題	基本方針 (将来像)	目標	施策	評価指標・目標値																				
<ul style="list-style-type: none"> ● 課題1 公共交通網に要する経費低減 ● 課題2 公共交通空白地区をつくらない ● 課題3 公共交通網の利便性向上 ● 課題4 持続する公共交通網の確立 ● 課題5 移動手段の整備を通じた集落機能向上 ● 課題6 市民の外出機会の創出及びその支援 ● 課題7 市民に受け入れられる公共交通網 ● 課題8 来訪者にも使いやすい公共交通網 	<p>将来像 いつまでも移動手段の確保に対する不安を持つことなく、明るく、豊かに生活できる土佐清水市</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 基本方針1 使いやすい公共交通網の構築 ● 基本方針2 持続する公共交通網の構築 ● 基本方針3 地域全体で育む交通網の構築 	<ul style="list-style-type: none"> ● 基本方針1 <ul style="list-style-type: none"> ● 【目標1-1】 既存交通網の利便性 ● 【目標1-2】 公共交通の利用環境改善 ● 基本方針2 <ul style="list-style-type: none"> ● 【目標2-1】 地域の公共交通網を次世代に残す ● 【目標2-2】 バランスのとれたスクールバスの運行 ● 【目標2-3】 利用促進の取り組み ● 基本方針3 <ul style="list-style-type: none"> ● 【目標3-1】 来訪者にも使いやすい環境整備 ● 【目標3-2】 まちづくりとの連携 	<p>【目標と具体的な施策】</p> <ul style="list-style-type: none"> 目標 1-① 既存交通網の利便性向上 <ul style="list-style-type: none"> ・移動手段確保に困窮する人を生み出さない取り組み ・運行ダイヤの検証と改善 ・乗り継ぎ利便性の向上 ・ICカードですかの普及 目標 1-② 公共交通の利用環境改善 <ul style="list-style-type: none"> ・停留所の快適性向上 ・公共交通結節点の利便性及び快適性の向上 ・車両のバリアフリー化の促進 目標 2-① 地域の交通事業を次世代に残す <ul style="list-style-type: none"> ・地域内交通網（路線バス、おでかけ号）の維持 ・タクシーを維持する ・路線バス及びタクシーの乗務員確保を支援する 目標 2-② バランスのとれたスクールバスの運行 <ul style="list-style-type: none"> ・運行経費の適正な配分のための検証と実践 目標 2-③ 利用促進の取り組み <ul style="list-style-type: none"> ・市民との定期的な対話による利用促進 ・広報を通じた利用促進 ・公共交通乗り方教室の定期開催 目標 3-① 来訪者にも使いやすい環境整備 <ul style="list-style-type: none"> ・情報発信手法の整理 ・携帯型時刻表の制作と更新 目標 3-② まちづくりとの連携 <ul style="list-style-type: none"> ・中心部へのおでかけプログラムの構築 ・中心市街地における回遊性の確保 	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">基本方針1：使いやすい公共交通網の構築</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標1-① 既存交通網の利便性向上</td> <td>【評価の指標】 公共交通に関するアンケート調査：利用者の満足度 ▶ 満足している人の割合が前年度実績を超える</td> </tr> <tr> <td>目標1-② 公共交通の利用環境改善</td> <td>【評価の指標】 路線バス及びおでかけ号の年間利用者数 ▶ 前年度実績を下回らない</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">基本方針2：持続する公共交通網の構築</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標2-① 地域の公共交通網を次世代に残す</td> <td>【評価の指標】 路線バス及びおでかけ号の年間利用者数 タクシーの車両数、乗務員数 ▶ 前年度実績を下回らない</td> </tr> <tr> <td>目標2-② バランスのとれたスクールバスの運行</td> <td>【評価の指標】 スクールバス運行経費の低減 ▶ 前年度実績を超えない</td> </tr> <tr> <td>目標2-③ 利用促進の取り組み</td> <td>【評価の指標】 路線バス及びおでかけ号の年間利用者数 ▶ 前年度実績を下回らない</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">基本方針3：地域全体で育む公共交通網の構築</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標3-① 来訪者にも使いやすい環境整備</td> <td>【評価の指標】 路線バス及びおでかけ号の年間利用者数 ▶ 前年度実績を下回らない</td> </tr> <tr> <td>目標3-② まちづくりとの連携</td> <td>【評価の指標】 市中心部（路線バス：プラザバル、おでかけ号：市街地区間）における公共交通の乗降者数 ▶ 前年度実績から年間5%以上増加</td> </tr> </tbody> </table>	基本方針1：使いやすい公共交通網の構築		目標1-① 既存交通網の利便性向上	【評価の指標】 公共交通に関するアンケート調査：利用者の満足度 ▶ 満足している人の割合が前年度実績を超える	目標1-② 公共交通の利用環境改善	【評価の指標】 路線バス及びおでかけ号の年間利用者数 ▶ 前年度実績を下回らない	基本方針2：持続する公共交通網の構築		目標2-① 地域の公共交通網を次世代に残す	【評価の指標】 路線バス及びおでかけ号の年間利用者数 タクシーの車両数、乗務員数 ▶ 前年度実績を下回らない	目標2-② バランスのとれたスクールバスの運行	【評価の指標】 スクールバス運行経費の低減 ▶ 前年度実績を超えない	目標2-③ 利用促進の取り組み	【評価の指標】 路線バス及びおでかけ号の年間利用者数 ▶ 前年度実績を下回らない	基本方針3：地域全体で育む公共交通網の構築		目標3-① 来訪者にも使いやすい環境整備	【評価の指標】 路線バス及びおでかけ号の年間利用者数 ▶ 前年度実績を下回らない	目標3-② まちづくりとの連携	【評価の指標】 市中心部（路線バス：プラザバル、おでかけ号：市街地区間）における公共交通の乗降者数 ▶ 前年度実績から年間5%以上増加
基本方針1：使いやすい公共交通網の構築																								
目標1-① 既存交通網の利便性向上	【評価の指標】 公共交通に関するアンケート調査：利用者の満足度 ▶ 満足している人の割合が前年度実績を超える																							
目標1-② 公共交通の利用環境改善	【評価の指標】 路線バス及びおでかけ号の年間利用者数 ▶ 前年度実績を下回らない																							
基本方針2：持続する公共交通網の構築																								
目標2-① 地域の公共交通網を次世代に残す	【評価の指標】 路線バス及びおでかけ号の年間利用者数 タクシーの車両数、乗務員数 ▶ 前年度実績を下回らない																							
目標2-② バランスのとれたスクールバスの運行	【評価の指標】 スクールバス運行経費の低減 ▶ 前年度実績を超えない																							
目標2-③ 利用促進の取り組み	【評価の指標】 路線バス及びおでかけ号の年間利用者数 ▶ 前年度実績を下回らない																							
基本方針3：地域全体で育む公共交通網の構築																								
目標3-① 来訪者にも使いやすい環境整備	【評価の指標】 路線バス及びおでかけ号の年間利用者数 ▶ 前年度実績を下回らない																							
目標3-② まちづくりとの連携	【評価の指標】 市中心部（路線バス：プラザバル、おでかけ号：市街地区間）における公共交通の乗降者数 ▶ 前年度実績から年間5%以上増加																							

8.四万十市「四万十市地域公共交通網形成計画」平成31年3月

課題	基本方針 (将来像)	目標	施策	評価指標・目標値																										
<ul style="list-style-type: none"> ● 課題1 人口減少に伴う将来的な公共交通利用者数減少への対策 ● 課題2 利便性の向上 ● 課題3 まちの将来像実現に必要な路線の強化 ● 課題4 市街地、山間部を問わない高齢者の移動手段確保(外出支援) ● 課題5 多様な市民ニーズへの対応と適正な交通手段の整理 ● 課題6 財政支出の確保 ● 課題7 利用者数・地域特性に応じた運行形態の見直し ● 課題8 交通事業者の課題への対応 ● 課題9 新たな需要の創出(免許返納促進・観光振興) ● 課題10 積極的な情報発信・啓発と当事者意識の醸成 	<p>将来像 市民生活とまちづくりを支える持続可能な地域公共交通</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 基本方針1 将来都市像実現を目指し、将来のまちの姿に沿った公共交通ネットワークを形成するとともに、公共交通が交流人口の拡大や地域活性化を支え、促進する役割を担う。 ● 基本方針2 市民生活を支える地域公共交通を将来にわたって確保維持していくため、利便性・効率性を備え、地域特性やニーズに合った持続可能な公共交通ネットワークを再構築する。 ● 基本方針3 市民、交通事業者、行政（市）、その他移動手段を行う事業者等による情報共有・役割分担・連携・協働により、利用環境の整備や利用促進を図り、地域公共交通の持続可能性を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 基本方針1 <ul style="list-style-type: none"> ● 【目標1】 市街地活性化に資する公共交通網の充実 ● 【目標2】 観光振興に資する公共交通の充実 ● 基本方針2 <ul style="list-style-type: none"> ● 【目標3】 利用状況等に応じた適切な運行体系の実現 ● 【目標4】 適正な財政負担の維持・確保 ● 基本方針3 <ul style="list-style-type: none"> ● 【目標5】 「乗って残そう」という意識の醸成 ● 【目標6】 市民、交通事業者、行政等による協働及び連携の強化 ● 【目標7】 鉄道・バス以外の移動手段の有効活用の促進 	<ul style="list-style-type: none"> ● 基本方針1、目標1 <ul style="list-style-type: none"> ・事業① 中村まちバス運行エリアの見直し ● 基本方針1、目標2 ● 基本方針2、目標3 <ul style="list-style-type: none"> ・事業③ 市民ニーズ把握による効率的な運行の実現 ・事業④ 利便性、効率性を高める運行手段の検討 ● 基本方針2、目標4 <ul style="list-style-type: none"> ・事業⑤ 受益者負担の検討 ● 基本方針3、目標5 <ul style="list-style-type: none"> ・事業⑥ 利用しやすい公共交通の実現 ・事業⑦ 市民意識の醸成及び利用促進 ・事業⑧ 高齢者等の運転免許返納の推進 ● 基本方針3、目標6 <ul style="list-style-type: none"> ・事業⑨ 市民、交通事業者、行政等が一体となった取り組みの推進 ● 基本方針3、目標7 <ul style="list-style-type: none"> ・事業⑩ 多様なニーズに応じた移動手段の検討 	<table border="1"> <thead> <tr> <th>基本方針</th> <th>達成の基準となる指標</th> <th>基準値 (平成29年度)</th> <th>目標値 (平成36年度) (2024年度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>基本方針1</td> <td>中村まちバスの年間利用者数</td> <td>9,595人</td> <td>10,000人</td> </tr> <tr> <td>基本方針2</td> <td>市内バス路線ニーズ調査の実施</td> <td>市内路線のみ</td> <td>地域間幹線を含む全路線</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">基本方針3</td> <td>市内全路線の年間利用者数</td> <td>46,737人</td> <td>50,000人</td> </tr> <tr> <td>市内バス路線に対する利用者満足度</td> <td>満足度：32.4% ※平成30年度数値</td> <td>満足度：50.0%以上</td> </tr> <tr> <td>広報・HP等での情報発信</td> <td>随時</td> <td>各2回/年</td> </tr> <tr> <td></td> <td>高齢者等の運転免許返納者数(年間)</td> <td>118人</td> <td>150人</td> </tr> </tbody> </table>	基本方針	達成の基準となる指標	基準値 (平成29年度)	目標値 (平成36年度) (2024年度)	基本方針1	中村まちバスの年間利用者数	9,595人	10,000人	基本方針2	市内バス路線ニーズ調査の実施	市内路線のみ	地域間幹線を含む全路線	基本方針3	市内全路線の年間利用者数	46,737人	50,000人	市内バス路線に対する利用者満足度	満足度：32.4% ※平成30年度数値	満足度：50.0%以上	広報・HP等での情報発信	随時	各2回/年		高齢者等の運転免許返納者数(年間)	118人	150人
基本方針	達成の基準となる指標	基準値 (平成29年度)	目標値 (平成36年度) (2024年度)																											
基本方針1	中村まちバスの年間利用者数	9,595人	10,000人																											
基本方針2	市内バス路線ニーズ調査の実施	市内路線のみ	地域間幹線を含む全路線																											
基本方針3	市内全路線の年間利用者数	46,737人	50,000人																											
	市内バス路線に対する利用者満足度	満足度：32.4% ※平成30年度数値	満足度：50.0%以上																											
	広報・HP等での情報発信	随時	各2回/年																											
	高齢者等の運転免許返納者数(年間)	118人	150人																											

9.香南市「香南市地域公共交通計画」令和4年3月

課題	基本方針 (将来像)	目標	施策	評価指標・目標値																																																																																								
<ul style="list-style-type: none"> 課題1 高齢者(買い物・通院)や外出に困っている人への移動手段の確保 課題2 地域特性やニーズに応じた交通サービスの提供 課題3 誰もが利用しやすい環境整備 課題4 公共交通への関心の醸成とわかりやすい情報発信の強化 課題5 適正な財政負担 課題6 まちづくり・観光・福祉との連携 課題7 周辺自治体と連携した広域移動への対応 	<p>基本的理念 暮らしの安心と豊かなまちづくりを支える地域公共交通～みんなで支え未来へつなぐ香南市の地域公共交通～</p> <p>●基本方針1 生活に困ることなく暮らし続けられるための交通ネットワークの形成</p> <p>●基本方針2 利用しやすく使いやすくなるような交通環境づくり</p> <p>●基本方針3 公共交通の利用促進と情報発信の強化</p> <p>●基本方針4 多様な主体が一緒に考え支えていく持続可能な公共交通</p>	<p>基本方針1</p> <ul style="list-style-type: none"> ●【目標1】 公共交通利用者数の増加 ●【目標2】 公共交通利用者の満足度の向上 ●【目標3】 交通結節点の接続率向上 ●【目標4】 居住地と拠点を繋ぐ交通体系の構築 ●【目標5】 適正な財政運営 ●【目標6】 広域アクセス向上による定住・交流人口の増加 <p>基本方針2</p> <ul style="list-style-type: none"> ●【目標7】 誰もが移動しやすい環境の充実 ●【目標8】 乗り継ぎしやすい環境の充実 <p>基本方針3</p> <ul style="list-style-type: none"> ●【目標9】 わかりやすい運行情報の提供 ●【目標10】 公共交通を利用する機会の向上 <p>基本方針4</p> <ul style="list-style-type: none"> ●【目標11】 地域公共交通に対する市民の参画度の向上 		<p>①基本方針1:生活に困ることなく暮らし続けられるための交通ネットワークの形成</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>目標</th> <th>目標指標の定義</th> <th>現状値</th> <th>目標値(2027)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標1:公共交通利用者数の増加</td> <td>市営バス年間利用者数(第2次香南市振興計画目標)</td> <td>30,126人(2020年数値)</td> <td>40,000人</td> </tr> <tr> <td>目標2:公共交通利用者の満足度の向上</td> <td>高知東部交通安芸線年間利用者数</td> <td>57,456人(2020年数値)</td> <td>60,000人</td> </tr> <tr> <td>目標3:交通結節点の接続率向上</td> <td>ごめん・なはり線市内駅年間乗降者数</td> <td>581,558人(2020年数値)</td> <td>598,000人</td> </tr> <tr> <td>目標4:居住地と拠点を繋ぐ交通体系の構築</td> <td>公共交通利用者調査による市営バス利用者の満足度</td> <td>58.9%</td> <td>63.0%</td> </tr> <tr> <td>目標5:適正な財政運営</td> <td>交通結節点(のち駅・夜須駅)の接続率</td> <td>67.2%</td> <td>81.7%</td> </tr> <tr> <td>目標6:広域アクセス向上による定住・交流人口の増加</td> <td>全人口に対する公共交通不便地域における人口割合</td> <td>2.3%</td> <td>1.0%未満</td> </tr> <tr> <td>目標7:誰もが移動しやすい環境の充実</td> <td>市営バスの財政負担額・収支率</td> <td>53,000千円11.1%(2020年数値)</td> <td>現状維持</td> </tr> <tr> <td>目標8:乗り継ぎしやすい環境の充実</td> <td>高知東部交通安芸線の財政負担額・収支率</td> <td>4,471千円33.5%(2021年数値)</td> <td>現状維持</td> </tr> <tr> <td>目標9:わかりやすい運行情報の提供</td> <td>香南市人口の社会増加数(第2次香南市まちづくりと創生総合戦略目標)</td> <td>66人(2020年数値)</td> <td>115人(2024年目標値)</td> </tr> <tr> <td>目標10:公共交通を利用する機会の向上</td> <td>観光入り込み客数(第2次香南市振興計画目標)</td> <td>907千人/年(2020年数値)</td> <td>1,280千人/年(2026年目標値)</td> </tr> <tr> <td>目標11:地域公共交通に対する市民の参画度の向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>②基本方針2:利用しやすく使いやすくなるような交通環境づくり</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>目標</th> <th>目標指標の定義</th> <th>現状値(2021)</th> <th>目標値(2027)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標7:誰もが移動しやすい環境の充実</td> <td>市民アンケート調査における「外出に困ることがある・困っている」の割合</td> <td>8.8%</td> <td>5%未満に下げる</td> </tr> <tr> <td>目標8:乗り継ぎしやすい環境の充実</td> <td>市民アンケート調査における待合空間の満足度(鉄道・路線バス・市営バスの満足度平均)</td> <td>8.6%</td> <td>向上</td> </tr> <tr> <td>目標9:わかりやすい運行情報の提供</td> <td>市民アンケート調査における運行情報案内の割合</td> <td>6.8%</td> <td>向上</td> </tr> <tr> <td>目標10:公共交通を利用する機会の向上</td> <td>モビリティマネジメントの取組件数*</td> <td>-</td> <td>年間10件</td> </tr> <tr> <td></td> <td>地域住民との意見交換会や説明会の実施件数</td> <td>-</td> <td>年間20件</td> </tr> </tbody> </table> <p>③基本方針3:公共交通の利用促進と情報発信の強化</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>目標</th> <th>目標指標の定義</th> <th>現状値(2021)</th> <th>目標値(2027)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標11:地域公共交通に対する市民の参画度の向上</td> <td>地域や事業者との協働の取組件数</td> <td>-</td> <td>8件</td> </tr> </tbody> </table> <p>④基本方針4:多様な主体が一緒に考え支えていく持続可能な公共交通</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>目標</th> <th>目標指標の定義</th> <th>現状値(2021)</th> <th>目標値(2027)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標11:地域公共交通に対する市民の参画度の向上</td> <td>地域や事業者との協働の取組件数</td> <td>-</td> <td>8件</td> </tr> </tbody> </table> <p><small>*モビリティ・マネジメント…適度に自動車に頼る状態から公共交通や徒歩などを含めた多様な交通手段を適度(＝かきこ)利用する状態へと少しずつ変えていく一連の取組。</small></p>	目標	目標指標の定義	現状値	目標値(2027)	目標1:公共交通利用者数の増加	市営バス年間利用者数(第2次香南市振興計画目標)	30,126人(2020年数値)	40,000人	目標2:公共交通利用者の満足度の向上	高知東部交通安芸線年間利用者数	57,456人(2020年数値)	60,000人	目標3:交通結節点の接続率向上	ごめん・なはり線市内駅年間乗降者数	581,558人(2020年数値)	598,000人	目標4:居住地と拠点を繋ぐ交通体系の構築	公共交通利用者調査による市営バス利用者の満足度	58.9%	63.0%	目標5:適正な財政運営	交通結節点(のち駅・夜須駅)の接続率	67.2%	81.7%	目標6:広域アクセス向上による定住・交流人口の増加	全人口に対する公共交通不便地域における人口割合	2.3%	1.0%未満	目標7:誰もが移動しやすい環境の充実	市営バスの財政負担額・収支率	53,000千円11.1%(2020年数値)	現状維持	目標8:乗り継ぎしやすい環境の充実	高知東部交通安芸線の財政負担額・収支率	4,471千円33.5%(2021年数値)	現状維持	目標9:わかりやすい運行情報の提供	香南市人口の社会増加数(第2次香南市まちづくりと創生総合戦略目標)	66人(2020年数値)	115人(2024年目標値)	目標10:公共交通を利用する機会の向上	観光入り込み客数(第2次香南市振興計画目標)	907千人/年(2020年数値)	1,280千人/年(2026年目標値)	目標11:地域公共交通に対する市民の参画度の向上				目標	目標指標の定義	現状値(2021)	目標値(2027)	目標7:誰もが移動しやすい環境の充実	市民アンケート調査における「外出に困ることがある・困っている」の割合	8.8%	5%未満に下げる	目標8:乗り継ぎしやすい環境の充実	市民アンケート調査における待合空間の満足度(鉄道・路線バス・市営バスの満足度平均)	8.6%	向上	目標9:わかりやすい運行情報の提供	市民アンケート調査における運行情報案内の割合	6.8%	向上	目標10:公共交通を利用する機会の向上	モビリティマネジメントの取組件数*	-	年間10件		地域住民との意見交換会や説明会の実施件数	-	年間20件	目標	目標指標の定義	現状値(2021)	目標値(2027)	目標11:地域公共交通に対する市民の参画度の向上	地域や事業者との協働の取組件数	-	8件	目標	目標指標の定義	現状値(2021)	目標値(2027)	目標11:地域公共交通に対する市民の参画度の向上	地域や事業者との協働の取組件数	-	8件
目標	目標指標の定義	現状値	目標値(2027)																																																																																									
目標1:公共交通利用者数の増加	市営バス年間利用者数(第2次香南市振興計画目標)	30,126人(2020年数値)	40,000人																																																																																									
目標2:公共交通利用者の満足度の向上	高知東部交通安芸線年間利用者数	57,456人(2020年数値)	60,000人																																																																																									
目標3:交通結節点の接続率向上	ごめん・なはり線市内駅年間乗降者数	581,558人(2020年数値)	598,000人																																																																																									
目標4:居住地と拠点を繋ぐ交通体系の構築	公共交通利用者調査による市営バス利用者の満足度	58.9%	63.0%																																																																																									
目標5:適正な財政運営	交通結節点(のち駅・夜須駅)の接続率	67.2%	81.7%																																																																																									
目標6:広域アクセス向上による定住・交流人口の増加	全人口に対する公共交通不便地域における人口割合	2.3%	1.0%未満																																																																																									
目標7:誰もが移動しやすい環境の充実	市営バスの財政負担額・収支率	53,000千円11.1%(2020年数値)	現状維持																																																																																									
目標8:乗り継ぎしやすい環境の充実	高知東部交通安芸線の財政負担額・収支率	4,471千円33.5%(2021年数値)	現状維持																																																																																									
目標9:わかりやすい運行情報の提供	香南市人口の社会増加数(第2次香南市まちづくりと創生総合戦略目標)	66人(2020年数値)	115人(2024年目標値)																																																																																									
目標10:公共交通を利用する機会の向上	観光入り込み客数(第2次香南市振興計画目標)	907千人/年(2020年数値)	1,280千人/年(2026年目標値)																																																																																									
目標11:地域公共交通に対する市民の参画度の向上																																																																																												
目標	目標指標の定義	現状値(2021)	目標値(2027)																																																																																									
目標7:誰もが移動しやすい環境の充実	市民アンケート調査における「外出に困ることがある・困っている」の割合	8.8%	5%未満に下げる																																																																																									
目標8:乗り継ぎしやすい環境の充実	市民アンケート調査における待合空間の満足度(鉄道・路線バス・市営バスの満足度平均)	8.6%	向上																																																																																									
目標9:わかりやすい運行情報の提供	市民アンケート調査における運行情報案内の割合	6.8%	向上																																																																																									
目標10:公共交通を利用する機会の向上	モビリティマネジメントの取組件数*	-	年間10件																																																																																									
	地域住民との意見交換会や説明会の実施件数	-	年間20件																																																																																									
目標	目標指標の定義	現状値(2021)	目標値(2027)																																																																																									
目標11:地域公共交通に対する市民の参画度の向上	地域や事業者との協働の取組件数	-	8件																																																																																									
目標	目標指標の定義	現状値(2021)	目標値(2027)																																																																																									
目標11:地域公共交通に対する市民の参画度の向上	地域や事業者との協働の取組件数	-	8件																																																																																									

10.田野町「田野町地域公共交通計画」(令和4年3月)

課題	基本方針 (将来像)	目標	施策	評価指標・目標値																						
<ul style="list-style-type: none"> 課題1 人口減少に伴う将来的な公共交通利用者数減少への対策 課題2 公共交通空白地区の解消 課題3 移動困難者の増加対策 課題4 公共交通の利便性向上 課題5 財政支出の確保 課題6 交通事業者の課題への対応 課題7 積極的な情報発信と当事者意識の醸成 	<p>将来像 町民の誰もが、日常生活のための移動に困ることなく健康的で活力ある毎日を過ごすことができる</p> <p>●基本方針1 町民生活に寄り添った公共交通</p> <p>●基本方針2 持続可能な公共交通</p> <p>●基本方針3 公共交通ネットワーク構築の促進</p>	<p>基本方針1 町民生活に寄り添った公共交通</p> <ul style="list-style-type: none"> 目標(1-1) 地域を支える公共交通 買物・通院・通学等、町民の日常生活のみではなく、商業・観光・福祉分野との連携により、まちの活力向上を図り、今後の地域を支えていける公共交通を目指します。 目標(1-2) 公共交通空白地区の解消 今後の移動困難者の増加等の課題に対しても、町内に住むすべての人にとって寄り添った公共交通とするため、町内居住地区における公共交通空白地区の解消を目指します。 <p>基本方針2 持続可能な公共交通</p> <ul style="list-style-type: none"> 目標(2-1) 利用状況に応じた公共交通の実現と適正な財政負担の維持・確保 地域(地区)特性や移動ニーズを把握し、公共交通の利用状況に応じて、最も効果的で効率的な公共交通体系を実現することで、適正な財政負担の維持・確保に努めます。 目標(2-2) 環境に配慮した公共交通の促進 持続可能な公共交通の実現のため、誰もが安全で安心して利用できる環境を整えるほか、地球環境への負荷を軽減するための環境配慮型車両の導入検討等も促進します。 <p>基本方針3 公共交通ネットワーク構築の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> 目標(3-1) 公共交通を守る意識の醸成 公共交通は「使って残す」「使って守る」ものであるということを町民全員に意識してもらうための啓発に努めます。 目標(3-2) 交通事業者、行政等による協働及び連携の強化 将来にわたり地域公共交通網を構築・維持していくため町民(地域)、交通事業者、行政、関係機関(部署)等、関係者すべてにおける協働及び連携の強化を目指します。 	<p>目標</p> <ul style="list-style-type: none"> (1-1) 地域を支える公共交通 (1-2) 公共交通空白地区の解消 (2-1) 利用状況に応じた公共交通の実現と適正な財政負担の維持・確保 (2-2) 環境に配慮した公共交通の促進 (3-1) 公共交通を守る意識の醸成 (3-2) 交通事業者、行政等による協働及び連携の強化 <p>実施する施策の方向性</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.通学利用の促進事業の検討 2.商業、観光分野との連携 3.移動困難者等に向けた支援事業の検討 4.利便性の向上 5.待合室等利用環境の整備促進 6.環境配慮型車両への更新 7.広報の充実 8.行政デジタル化に伴うITの活用検討 9.公共交通担い手の確保支援 	<table border="1"> <thead> <tr> <th>基本方針</th> <th>達成の基準となる指標</th> <th>現況値</th> <th>数値目標(令和8年度)(2026年度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>基本方針1</td> <td>たのくるバスの年間利用者数</td> <td>1,713人</td> <td>1,800人</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">基本方針2</td> <td>たのくるバスの年間収支率</td> <td>2.65%</td> <td>2.65%</td> </tr> <tr> <td>たのくるバス利用者1人あたりの公的資金投入額</td> <td>3,735円/人</td> <td>3,735円/人</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">基本方針3</td> <td>土佐くろしお鉄道ごめん・なはり線 田野駅年間乗降客数</td> <td>32,094人</td> <td>33,000人</td> </tr> <tr> <td>高知東部交通路線バス 田野役場通バス停年間乗降客数 ※ICカード「ですか」利用者のみ</td> <td>7,705人</td> <td>8,000人</td> </tr> </tbody> </table>	基本方針	達成の基準となる指標	現況値	数値目標(令和8年度)(2026年度)	基本方針1	たのくるバスの年間利用者数	1,713人	1,800人	基本方針2	たのくるバスの年間収支率	2.65%	2.65%	たのくるバス利用者1人あたりの公的資金投入額	3,735円/人	3,735円/人	基本方針3	土佐くろしお鉄道ごめん・なはり線 田野駅年間乗降客数	32,094人	33,000人	高知東部交通路線バス 田野役場通バス停年間乗降客数 ※ICカード「ですか」利用者のみ	7,705人	8,000人
基本方針	達成の基準となる指標	現況値	数値目標(令和8年度)(2026年度)																							
基本方針1	たのくるバスの年間利用者数	1,713人	1,800人																							
基本方針2	たのくるバスの年間収支率	2.65%	2.65%																							
	たのくるバス利用者1人あたりの公的資金投入額	3,735円/人	3,735円/人																							
基本方針3	土佐くろしお鉄道ごめん・なはり線 田野駅年間乗降客数	32,094人	33,000人																							
	高知東部交通路線バス 田野役場通バス停年間乗降客数 ※ICカード「ですか」利用者のみ	7,705人	8,000人																							

11.安田町「安田町地域公共交通網形成計画」(平成31年3月)

課題	基本方針 (将来像)	目標	施策	評価指標・目標値
<ul style="list-style-type: none"> ●課題1 公共交通空白地区の解消 ●課題2 既存の公共交通網の利用促進 ●課題3 公共交通網の持続につなげる取り組み ●課題4 バス停留所における安全確保と環境改善 ●課題5 広域で考える公共交通網 ●課題6 公共交通網整備の在り方に戦略を持つ 	<p>将来像 様々な要因が重なり、本町における公共交通網の利便性維持が難しくなりつつあるが、「住み慣れた場所を離れたくない」気持ちを持つ高齢者(移動制約者)も多く、誰もが「自動車に頼らずとも生活を持続できる町」を実現させるため、自分の意思で移動でき、地域の実情・町民の移動ニーズと整合のとれた生活交通サービスの構築を実現する。 また、公共交通網の充実による町民同士の交流、町外との交流人口の拡大を通じた地域の活性化にもつなげる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●基本方針1 地域の実情に合った公共交通網の整備 ●基本方針2 公共交通網の持続と利用促進 ●基本方針3 まちづくりとの連携 ●基本方針4 広域で共有する移動手段とまちづくり 	<p>基本方針1 ●【目標1】誰もが利用できる安心・安全な公共交通網を実現させる</p> <p>基本方針2 ●【目標2】地域の移動手段として持続する公共交通網の実現</p> <p>基本方針3 ●【目標3】公共交通への理解と賑わいづくりの実現</p> <p>基本方針4 ●【目標4】生活圏がひとつになり進める利便性向上の実現</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●基本方針1、目標1 <ul style="list-style-type: none"> ・事業① 公共交通空白地区の解消 ・事業② 福祉輸送の整備 ・事業③ 運行ダイヤの検証と改善 ・事業④ 待ち合い所の快適性向上 ・事業⑤ バス停利用者の安全性向上 ●基本方針2、目標2 <ul style="list-style-type: none"> ・事業① 利用しやすい運賃設定 ・事業② わかりやすい情報発信 ・事業③ 町民との定期的な対話による利用促進 ・事業④ イベントを通じた利用促進 ・事業⑤ 公共交通利用者の組織化 ・事業⑥ ICカードですかの普及支援 ・事業⑦ 乗務員確保への支援 ●基本方針3、目標3 <ul style="list-style-type: none"> ・事業① 町内の集客施設との連携による利用促進 ・事業② 観光客への案内の一元化 ・事業③ 移動制約者等の見守り体制構築 ・事業④ 学校におけるバス乗り方教室の開催 ・事業⑤ 中心部への交通結節点待ち合い所整備 ●基本方針4、目標4 <ul style="list-style-type: none"> ・事業① 町民の生活圏と整合する路線構築 ・事業② 広域連携による観光来訪者への情報発信 ・事業③ 広域連携による地域のアピール 	<ul style="list-style-type: none"> ■基本方針1、目標1 <ul style="list-style-type: none"> ・安田町内の停留所で乗降する利用者数(ICカードですか利用者) ・安田駅、唐浜駅で乗降する利用者数 ・町内の新しい移動手段を町内で乗降する利用者数 ■基本方針2、目標2 <ul style="list-style-type: none"> ・安田町内に住所を持ち、なおかつICカードですか[記名式]を所持する人の数(毎年3月初旬時点)【毎年20%増加】 ■基本方針3、目標3 <ul style="list-style-type: none"> ・輝るぼーと安田(土佐の元気市): レジ通過人数 ・輝るぼーと安田(安田の茶屋): レジ通過人数 ・安田まちなみ交流館・和: 入館者数 ●いずれも【現状維持】 ■基本方針4、目標4 <ul style="list-style-type: none"> ・観光ミニツアーの参加者数 <ul style="list-style-type: none"> ・初年度 30人 ・2年目 60人 ・3年目 72人 ・4年目 86人 ・5年目 103人

12.本山町「本山町地域公共交通網形成計画」(平成31年3月)

課題	基本方針 (将来像)	目標	施策	評価指標・目標値
<ul style="list-style-type: none"> ●課題1 公共交通空白地区の解消 ●課題2 地区の状況に対応した運行 ●課題3 公共交通網の利便性向上 ●課題4 広域の移動手段確保 ●課題5 中心部における集いの場づくり ●課題6 安心して暮らせる生活交通確保 ●課題7 公共交通を身近に感じる機会の創出 ●課題8 次の世代に地域を知ってもらおう 	<p>将来像 『町民の誰もが安心して利用できる公共交通網が確保され、多くの町民が健康的に充実した生活をおくることができる町。そして人の移動が活性化されることで町そのものが元気になる本山町。』</p> <ul style="list-style-type: none"> ●基本方針1 公共交通空白地区の解消により、人のながれを再構築する ●基本方針2 公共交通網の運行を持続させる ●基本方針3 機能を集約したバス停の検討(中心部における賑やかな空間づくり) ●基本方針4 誰もが使いやすい公共交通へ ●基本方針5 地域とつながる公共交通網 	<p>基本方針1 ●【目標1】新しい移動手段の利用定着</p> <p>基本方針2 ●【目標2】公共交通網の持続を目指した住民との対話</p> <p>基本方針3 ●【目標3】誰もが集い、交流にもつなげられるバス停整備</p> <p>基本方針4 ●【目標4】地域全体の公共交通利用者数を維持させる</p> <p>基本方針5 ●【目標5】地域の催しとつながり、外出機会の創出につなげる</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●基本方針1 <ul style="list-style-type: none"> ・事業① 公共交通空白地区の解消のために ・事業② 公共交通のネットワーク化 ●基本方針2 <ul style="list-style-type: none"> ・事業③ 継続的な運行支援 ・事業④ 国や県による支援制度の積極的な活用 ・事業⑤ 利用定着につなげる情報発信 ・事業⑥ 住民との対話を通じた利用促進 ●基本方針3 <ul style="list-style-type: none"> ・事業⑦ 安全を確保し、快適に待てるバス停整備 ・事業⑧ 車での外出を支援するパークアンドライド整備 ●基本方針4 <ul style="list-style-type: none"> ・事業⑨ できるところから取り組む利便性向上 ・事業⑩ 利用しやすい運賃設定 ・事業⑪ 丁寧な情報掲示 ●基本方針5 <ul style="list-style-type: none"> ・事業⑫ 高齢者の外出を促す取り組み ・事業⑬ 子どもたちへの啓発 ・事業⑭ 地域の催しに連携した広報・啓発 	<ul style="list-style-type: none"> ■基本方針1、目標1 <ul style="list-style-type: none"> ・指標: 新しい移動手段の利用者数 2.0人/回以上(運行開始以降) ・2.0人/回以上(初年度)⇒次年度以降は前年度を下回らない ■基本方針2、目標2 <ul style="list-style-type: none"> ・指標: 町民を対象とした意見交換会を開催 ・毎年10地区以上開催(R.1年度以降) ■基本方針3、目標3 <ul style="list-style-type: none"> ・指標: 機能を集約したバス停を事業期間内の整備完了を目指す ・2021年度に整備完了 ■基本方針4、目標4 <ul style="list-style-type: none"> ・指標: 新しい移動手段整備後、既存公共交通網を合わせた利用者数を一定確保する ・公共交通網利用者が前年度を下回らない(R.1年度以降) ■基本方針5、目標5 <ul style="list-style-type: none"> ・指標: 高齢者を対象とした催しと連携した移動手段の確保 ・毎年6回以上、催しと連携

13.いの町「いの町地域公共交通計画」(令和4年3月)

課題	基本方針 (将来像)	目標	施策	評価指標・目標値
<p>課題1</p> <ul style="list-style-type: none"> 基幹バス路線の非効率運行によるコストの増大 広域交通との接続の利便性の低さ <p>課題2</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域内公共交通の利便性の低さ(中山間地域・市街地) <p>課題3</p> <ul style="list-style-type: none"> 利用促進に関する課題(ハード面) 利用促進に関する課題(ソフト面) <p>課題4</p> <ul style="list-style-type: none"> 人口減少、少子高齢化による利用者の減少 潜在需要の掘り起こしができていない <p>課題5</p> <ul style="list-style-type: none"> 立地適正化計画との連携 観光面での課題 	<p>将来像 人々が集い、心の豊かさを実感し、いきいきと暮らせる活力あるまちづくりを支えるため、利便性の高い公共交通サービスを提供します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●基本方針1 広域的な移動を確保し、豊かな日常生活を支える効率的な公共交通の確保 ●基本方針2 利用しやすい環境づくりによる利用促進と公共交通の維持 ●基本方針3 地域みんなの連携による地域公共交通の維持・活性化 ●基本方針4 心の豊かさを実感できるまちづくりを支援する地域公共交通の構築 	<p>基本方針1</p> <ul style="list-style-type: none"> ●【目標1】効率的で持続可能な基幹バス路線と広域交通の確保 ●【目標2】地域内公共交通の利便性の向上 <p>●基本方針2</p> <ul style="list-style-type: none"> ●【目標3】利用を促進することにより、公共交通を確保する <p>●基本方針3</p> <ul style="list-style-type: none"> ●【目標4】協働・連携による持続可能な地域公共交通の維持・活性化 <p>●基本方針4</p> <ul style="list-style-type: none"> ●【目標5】まちづくりと連携した公共交通ネットワークの構築 	<ul style="list-style-type: none"> ●基本方針1、目標1 ● 施策① 事業者間連携 ● 施策② バス路線の見直し(市町間長大路線の分割) ●基本方針1、目標2 ● 施策③ 公共交通空白地域をカバーする交通サービスの改善 ● 施策④ JR伊野駅へのアクセス改善(伊野循環線の再編) ● 施策⑤ グリーンスローモビリティの導入の検討 ●基本方針2、目標3 ● 施策⑥ 利用しやすい環境づくり ● 施策⑦ わかりやすい公共交通情報の提供 ● 施策⑧ ICT活用による利便性の向上 ●基本方針3、目標4 ● 施策⑨ 割引制度の検討 ● 施策⑩ 公共交通活用イベントの開催や情報発信、啓発による公共交通の活性化 ●基本方針4、目標5 ● 施策⑪ 将来のまちづくり計画と連携した公共交通軸の充実(まちづくり計画と連携した公共交通機能の強化) ● 施策⑫ 観光まちづくりと連携した公共交通の活用(観光まちづくりを支援する公共交通対策) 	<ul style="list-style-type: none"> ●鉄道 年間利用者数(人) 【720,510(R.1)⇒756,536(R.8)】 ●路面電車 年間利用者数(人) 【260,975(R.2)⇒274,024(R.8)】 ●バス等 年間利用者数(人) 【345,836(R.2)⇒363,128(R.8)】 ●年間収支率(%) 【38.7(R.2)⇒40.0(R.8)】 ●公的負担金(千円) 【102,324,828(R.2)⇒99,070,356(R.8)】 ●公共交通の利用促進 指標：乗り方教室の実施回数(回) 【0(R.2)⇒10(R.8)】 毎年2回実施(5年間で計10回)

14.中土佐町「中土佐町地域公共交通網形成計画」(平成31年3月)

課題	基本方針 (将来像)	目標	施策	評価指標・目標値
<p>■ 地域の交通まちづくりに関する課題より</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 住み慣れた地区で生活を続けたい高齢者への対応 ▶ 生活を維持するための移動手段の確保 ▶ 公共交通の利便性向上の取り組み ▶ 車と公共交通を併用することで、徐々に公共交通利用につなげる取り組み ▶ 町内のお買い物場における賑わい創出 ▶ 交通安全を認識できる機会の創出 ▶ 大野見地区の生活交通確保 ▶ 訪日外国人旅行者への配慮 ▶ 鉄道と路線バスの乗り換え利用を可能にする運行ダイヤ ▶ 路線バス同士の乗り換え利用を可能にする運行ダイヤ ▶ 公共交通空白地区への対応 ▶ コミュニティバスを利用したことが無い人が、利用のきっかけを得られる機会創出 ▶ 誰もがわかりやすいと感じるバス停掲示の実現 ▶ 携帯できる公共交通に関する情報 ▶ 便利で快適におかえり便を待てる場所の確保 ▶ 公共交通利用を喚起する取り組み ▶ バスバス制度の運用方法について改善 ▶ 多様な世代への公共交通利用促進 <p>■ 上位計画及び関連する計画より</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 高齢者を中心とする交通弱者に配慮した公共交通の利便性向上 ▶ 日常生活に欠かせない生活交通手段の確保として公共交通機能の維持 ▶ コミュニティバスの利用者数を平成33年度に10,000人とする ▶ 高齢者等の交通弱者の主要な移動手段を存続させる ▶ 公共交通利用者のニーズに対応した利便性や機能の向上と効率的な運営を両立させる ▶ イベントや委員会などに参加しやすい仕組みをつくり、住民主体のまちづくりを実現させる ▶ 見守り・支え合いの意識を持つ住民を増やす ▶ 高齢者の外出支援 	<p>将来像 つながる公共交通を上手に活用して、中土佐町に暮らす誰もがいきいきと生活を楽しむことができる。中土佐町に訪れる人も、町内での活動を楽しむことができる。「ここに暮らしてよかった」「ここを訪れてよかった」があふれる中土佐町</p> <ul style="list-style-type: none"> ●基本方針1 公共交通の利便性向上と利用促進 ●基本方針2 持続する公共交通 ●基本方針3 地域と移動手段の連携 	<p>基本方針1</p> <ul style="list-style-type: none"> ●【目標1】公共交通空白地区に暮らす移動制約者を出現させない ●【目標2】交通結節点における設定接続時間の回数が前年実績を下回らない ●【目標3】コミュニティバスの利用者数が前年度実績を下回らない <p>基本方針2</p> <ul style="list-style-type: none"> ●【目標1】町内の路線バス(コミュニティバス含む)利用者数が前年度実績を下回らない ●【目標2】イベント参加者が前年度実績より5%増加していく ●【目標3】町内で発生する交通事故を減少させる <p>基本方針3</p> <ul style="list-style-type: none"> ●【目標1】ICカードですかを所持する人を増やす ●【目標2】町内の観光施設への入り込み客数等を増やす 	<ul style="list-style-type: none"> ●基本方針1 ● 事業① 公共交通空白地区解消への対応 ● 事業② 乗り換えを意識した路線バス運行ダイヤの設定 ● 事業③ 久礼地区中心部におけるサロン型バス待合所の検討 ● 事業④ 土佐久礼駅の快適性向上 ● 事業⑤ 全ての公共交通を網羅した時刻表の作成 ● 事業⑥ 地域の移動ニーズを反映した運行(中土佐町コミュニティバス) ● 事業⑦ わかりやすいバス停掲示の工夫 ●基本方針2 ● 事業① 地区別意見交換会の定期開催 ● 事業② 公共交通利用者懇談会の定期開催 ● 事業③ 高齢者を対象としたお出かけイベントの定期開催 ● 事業④ 地区別に高齢者を対象としたバス乗り方教室の開催 ● 事業⑤ 学校における公共交通の利用と交通安全教室の開催 ● 事業⑥ 車利用から公共交通利用に無理のない転換を促す講習会の開催 ●基本方針3 ● 事業① 高齢者の外出支援施策との連携 ● 事業② 高齢者及び子どもたちの見守り支援策の構築 ● 事業③ 運転免許返納に関する情報提供 ● 事業④ 来訪者への公共交通情報の提供 	<ul style="list-style-type: none"> ■基本方針1、目標1 ● 公共交通空白地区に暮らす移動手段を持たない世帯の数を計画期間内に0とする。 ■基本方針1、目標2 ● 交通結節点の機能を有する土佐久礼駅及びバス停留所における乗り物間の接続時間を計測、指標に合致する接続回数が前年を下回らない。 ■基本方針1、目標3 ● コミュニティバスの年間利用者数が前年度を下回らない。 ■基本方針2、目標1 ● コミュニティバスと路線バスの町内における年間乗降者数が前年度を下回らない。 ■基本方針2、目標2 ● 高齢者を対象としたお出かけイベントの定期開催の参加者数5%増加。 ■基本方針2、目標3 ● 町内で発生する交通事故発生件数(「子どもの事故」、「高齢者の事故」)が前年実績を上回らない。 ■基本方針3、目標1 ● ICカードですかの所有者数5%増加 ■基本方針3、目標2 ● 町内の観光施設の入り込み客数が前年度よりマイナスにならない。

15.佐川町「佐川町地域公共交通網形成計画」(平成28年3月)

課題	基本方針 (将来像)	目標	施策	評価指標・目標値
<ul style="list-style-type: none"> ● 課題1 公共交通空白地区の解消 ● 課題2 誰もが利用しやすい公共交通網への再編 ● 課題3 人々の公共交通利用を支えるインフラ整備 ● 課題4 持続する公共交通網につなげる ● 課題5 公共交通に関する情報の戦略的な発信 ● 課題6 だれもが納得できる意識の土壌づくり 	<p>将来像 佐川町に暮らす人々が将来への不安などを感じることなく、日常の生活に幸せを感じながら過ごすことができる町</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 基本方針1 誰もが利用しやすい公共交通網へ ● 基本方針2 いつまでも持続する公共交通網へ ● 基本方針3 公共交通事業運営体制の再編 	<p>基本方針1</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 【目標1】 まちづくりと連携した公共交通網の再整備 ● 【目標2】 福祉交通とも連携した公共交通網の整備 ● 【目標3】 利用者と地域の特性に合わせた車両導入 ● 【目標4】 乗り換えや待ち時間を快適にする待ち合い所の整備 ● 【目標5】 様々な利用者が必要に応じて入手できる運行情報の整備 <p>基本方針2</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 【目標1】 町民の移動ニーズを的確に把握する取り組み ● 【目標2】 国や県の施策とリンクした取り組み ● 【目標3】 町のインフラとして地域で支える公共交通網 ● 【目標4】 町内の移動手段としてみんなで活用する意識づくり <p>基本方針3</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 【目標1】 それぞれの乗り物の特徴を活かして役割分担できる運営体制の構築 ● 【目標2】 利用者が安心・安全を感じられる公共交通網 	<p>基本方針1：誰もが利用しやすい公共交通網へ</p> <p>目標 (1)：まちづくりと連携した公共交通網の再整備</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 鉄道、地域間交通、町内交通等が連携した路線再編 ② 地区の特性を踏まえた効率的な公共交通空白地区の解消 ③ 町中心部を循環する移動手段の配置 <p>目標 (2)：福祉交通とも連携した公共交通網の整備</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 移動制約者の移動を支援する仕組みづくり <p>目標 (3)：利用者と地域の特性に合わせた車両導入</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 小型バスの導入およびタクシー車両の活用 <p>目標 (4)：乗り換えや待ち時間を快適にする待ち合い所の整備</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 人が集まる場所への待ち合い施設の整備 ② 停留所の利用を快適にする整備 <p>目標 (5)：様々な利用者が必要に応じて入手できる運行情報の整備</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 冊子を活用した町民への情報提供 ② 停留所における交通関連情報の拡充 ③ WEBを活用した情報提供 <p>基本方針2：いつまでも持続する公共交通網へ</p> <p>目標 (1)：町民の移動ニーズを的確に把握する取り組み</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 公共交通利用者を対象とした意見交換会の実施 ② 地区単位による住民との意見交換会の実施 <p>目標 (2)：国や県の施策とリンクした取り組み</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 公共交通支援施策に関する情報収集および活用する体制の構築 <p>目標 (3)：町のインフラとして地域で支える公共交通網</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 地域で支える公共交通網 <p>目標 (4)：町内の移動手段としてみんなで活用する意識づくり</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 広報紙を通じた意識づくり ② 町内における出前講座の実施 ③ 公共の乗り物を身近に感じられるイベントの実施 <p>基本方針3：公共交通事業運営体制の再編</p> <p>目標 (1)：それぞれの乗り物の特徴を活かして役割分担できる運営体制の構築</p> <ol style="list-style-type: none"> ① バス事業者、複数のタクシー事業者、行政による運行体制の構築 <p>目標 (2)：利用者が安心・安全を感じられる公共交通網</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 安心・安全を感じてもらえるサービスの充実 	<ul style="list-style-type: none"> ● 評価① 公共交通網を持続させるための運営状況の把握 ● 評価② 乗り継ぎ利便性の向上 ● 評価③ 公共交通空白地区の解消 ● 評価④ 公共交通利用可能圏内(停留所・駅等から半径400m以内)の移動制約者数を0に近づける。 ● 評価⑤ 人の移動を支える公共交通網 ● 評価⑥ 新しく整備される町内の公共交通網全体の利用者数が前年度を下回らない。 ● 評価⑦ 利用者と地域の特性に合わせた車両導入 ● 評価⑧ 事業初年度から車両を導入し、地域の特性に合わせた運行につなげる。 ● 評価⑨ 人の集まる待ち合い所 ● 評価⑩ 中心部における待ち合い所の整備と利用者数が実績数を前年度以上とする。 ● 評価⑪ 町民の移動ニーズを的確に把握する取り組み ● 評価⑫ 利用者懇談会を年に1回は実施、運行概要への反映が可能なものは対応 ● 評価⑬ 安心・安全の提供 ● 評価⑭ 事故の発生件数を前年度以下とし、0を目指す。

16.梶原町「梶原町地域公共交通計画」(令和3年3月)

課題	基本方針 (将来像)	目標	施策	評価指標・目標値
<ul style="list-style-type: none"> ● 公共交通空白地区の解消 ● 地区の移動ニーズと整合した運行ダイヤ ● 本町中心部における運行経路の見直し ● 地形の高低差を考慮した公共交通空白地区解消の取り組み ● 路線図の作成 ● 家庭用にわかりやすくとりまとめた運行情報を配布 ● 集客施設やホームページ上にわかりやすく公共交通の運行情報を掲示 ● 誰にもわかりやすいバス停での掲示情報 ● 降雪時にも見つけやすいバス停 ● バス停の管理体制の見直し(掲示物、建屋) ● 路線バスとの連携を考慮した利用方法の見直し(松原区) ● 交通結節点としての整備 ● 集客施設における公共交通情報の掲示 ● 他の自治体間をつなぐ路線の利便性向上 ● 町と高知高陵交通の関係を現実と整合したものに変更 ● 保護者の送迎を含めた通学手段に対するルールづくり ● 新しい運行体系に向けた運営体制構築 ● 利用しやすい運賃体系の構築 ● 降雪深を正確に把握し、柔軟に運行できる仕組み構築 ● 降雪時など、運休情報を正確に発信できる仕組み構築 ● 乗務員確保の取り組み ● 地域の公共交通についてまずは知ってもらう ● 地域の公共交通をまずは体験してもらう ● 地域の公共交通に関する情報をわかりやすく発信する ● 公共交通利用が楽しいと感じる仕掛け ● 公共交通の車両として環境に配慮したものを導入 ● 環境にやさしいまちづくりに理解を深めるための取り組み ● 自動車運転免許証の返納に関して理解を得られる取り組み ● 四国カルストへの玄関拠点としての機能整備 ● 路線バス車内事故防止の取り組み ● 道路横断における歩行者の安全確保の取り組み 	<p>将来像 生活の維持のために必要な移動手段として、町内外を結ぶ公共交通ネットワークが快適に機能し、それが地域の状況に合わせて持続することで、町内に暮らす人々が安心していつまでも住み慣れた場所での生活を続けられる。また、コンパクトなまちづくりを実現し、本町の魅力である優れた自然及び環境保全の取り組みに貢献する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 基本方針1 インフラとしての公共交通ネットワークの再構築 ● 基本方針2 地域を挙げて利用促進につなげる公共交通ネットワーク ● 基本方針3 本町の魅力の磨き上げに貢献する公共交通ネットワーク ● 基本方針4 地域の交通安全に貢献する公共交通ネットワーク 	<ul style="list-style-type: none"> ● 目標1 公共交通の利用状況を客観的指標により管理する ● 目標2 全ての町民が公共交通を利用できる環境を整備する ● 目標3 町中心部における歩行者が増加する ● 目標4 公共交通での来訪者が増加する 	<p>基本方針1：インフラとしての公共交通ネットワークの再構築</p> <p>実施事業 1-1：高知高陵交通との契約内容の見直し</p> <p>実施事業 1-2：公共交通ネットワークの再構築</p> <p>実施事業 1-3：公共交通ネットワークの見直しによる移動ニーズとの整合</p> <p>実施事業 1-4：バス停の機能拡充と厳格な管理</p> <p>実施事業 1-5：交通結節点機能の整備</p> <p>実施事業 1-6：集客施設への高知高陵バスロケモニターの設置</p> <p>実施事業 1-7：町内の公共交通ネットワークの運営体制構築</p> <p>実施事業 1-8：利用しやすい運賃体系の検討</p> <p>実施事業 1-9：地域間幹線系統の改善と維持</p> <p>実施事業 1-10：降雪にも対応できる利便性向上</p> <p>基本方針2：地域を挙げて利用促進につなげる公共交通ネットワーク</p> <p>実施事業 2-1：公共交通利用に関する説明と意見交換を通じた改善</p> <p>実施事業 2-2：公共交通利用につなげる体系的な情報提供</p> <p>実施事業 2-3：バス乗り方教室の開催</p> <p>実施事業 2-4：おでかけイベントの企画と実施</p> <p>実施事業 2-5：乗務員確保の支援</p> <p>実施事業 2-6：バスの車内での移動時間を楽しめる仕組みづくり</p> <p>基本方針3：本町の魅力の磨き上げに貢献する公共交通ネットワーク</p> <p>実施事業 3-1：町内の商業施設や楽しみの場との連携</p> <p>実施事業 3-2：自家用車に頼らず町内を楽しむことのできる提案</p> <p>実施事業 3-3：環境配慮型車両の導入支援</p> <p>実施事業 3-4：環境にやさしい移動手段を考える出前授業</p> <p>基本方針4：地域の交通安全に貢献する公共交通ネットワーク</p> <p>実施事業 4-1：自動車運転免許返納に関する情報発信</p> <p>実施事業 4-2：バス利用者の見守り制度の構築</p> <p>実施事業 4-3：バス利用者の車内事故防止の広報</p> <p>実施事業 4-4：バス利用者の安全確保の取り組み</p> <p>実施事業 4-5：通学のルールづくり</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 基本方針1 ● 評価①：町内の公共交通利用者が維持する ● 【現状維持】 ● 評価②：交通結節点における路線バス乗降者数が維持する ● 【2,117人(R.2)⇒2,223人(R3.12) 2,668人(R4.12)】 以降2,668人を維持 ● 評価③：町内の公共交通ネットワークの公的負担額及び収支率の検証 ● 【R.5の実績を踏まえ、以降はその収支率を維持】 ● 基本方針2 ● 評価④：ICカードですかの所持者数が増加する ● 【R.3より2年間で50人増加、3年目以降は10%増加】 ● 基本方針3 ● 評価⑤：中心部の賑わいが増す ● 【現状維持】 ● 基本方針4 ● 評価⑥：車内事故を発生させない ● 【常に0件】

17.津野町「津野町地域公共交通計画」(令和4年3月)

課題	基本方針 (将来像)	目標	施策	評価指標・目標値														
<ul style="list-style-type: none"> 1.地域情報の把握と変化に対応する路線再編 2.移動制約者への配慮 3.地域情報の把握 4.地域の民間事業者・集客施設との連携 5.バス利用者の待ち合い施設整備 6.人口減少対策の確実な推進 7.地域への愛着醸成 8.公共交通網と集客施設の連携 9.公共交通の利便性向上 10.住民が行政や公共交通事業者に要望できる仕組み構築 11.住民からのS O Sを把握できる仕組み構築 12.地域の移動手段に関する情報発信 13.路線バス運行ダイヤの調整 14.路線バス同士の接続を意識した運行ダイヤの再検討 15.乗り換えをしやすい運賃体系の再検討 16.分かりやすいバス停掲示情報 17.高陵交通の路線バスに関する広報 18.路線バスとつのバスの両方を利用できる仕組みの検討 19.バス待ち合い(乗り換え)施設の整備推進 20.ホームページや時刻表冊子による公共交通情報の発信 21.天狗高原～四国カルストへの公共交通による観光アクセス構築 22.対話を通じた公共交通利用の啓発 23.公共交通利用のきっかけを提供する仕組み構築 24.乗務員への周知徹底 25.利用者に対するバス利用の意思表示に関する周知 26.タクシーサービスの拡大 27.持続する路線バス支援の在り方検討 28.計画の推進体制の構築 	<p>●目指す将来像 津野町で暮らす地域住民と、津野町への来訪者が、安心して利用できる利便性の高い公共交通網を活用し、健康的で創造的な生活と活動がいつまでも展開される。</p> <p>●基本方針1 公共交通網が地域住民や来訪者にとって使いやすいものへ</p> <p>●基本方針2 公共交通網が利用者の移動ニーズと整合し、そして持続する</p> <p>●基本方針3 公共交通網の利用を通じて、人や組織そして地域が元気になる</p>	<p>●目標1 公共交通利用者数を増加させる</p> <p>●目標2 公共交通網の公的負担額の改善につなげる</p> <p>●目標3 つのバスの収支率を改善させる</p> <p>●目標4 交通結節点における路線バス乗降者数が増加する</p> <p>●目標5 地域の移動ニーズを把握する</p> <p>●目標6 I Cカードですかの所持者数が増加する</p> <p>●目標7 年間宿泊客数を増加させる</p>	<p>●基本方針1</p> <ul style="list-style-type: none"> 実施施策01：路線バスと地域の移動ニーズとの整合確保 実施施策02：つのバスと地域の移動ニーズとの整合確保 実施施策03：交通結節点整備への待合所整備及び機能拡充 実施施策04：バス停の改善 実施施策05：路線バスとつのバスを相互に利用できる地域定期券 実施施策06：分かりやすい広報 実施施策07：乗務員確保策と接遇向上 実施施策08：タクシー事業のサービス拡充 実施施策09：路線バスの改善と維持のために <p>●基本方針2</p> <ul style="list-style-type: none"> 実施施策10：住民との直接対話による移動ニーズの把握と周知 実施施策11：公共交通利用者懇談会による移動ニーズの把握と周知 実施施策12：公共交通利用のきっかけとなる催しの定期開催 実施施策13：地域イベントへの出展を通じた広報と啓発 実施施策14：地域から地域の情報を提示できる仕組み構築 <p>●基本方針3</p> <ul style="list-style-type: none"> 実施施策15：四国カルストへの観光アクセスルートの構築 実施施策16：公共交通と地域の集客施設の連携 実施施策17：スクールバスへの一般混乗のルール構築 実施施策18：地域住民が地域に足を運び、地域を知る機会創出 	<p>●目標1：公共交通利用者数を増加させる</p> <table border="1" data-bbox="2027 275 2816 396"> <tr> <td>[現況値(令和2年)] 高陵交通：10,561人 つのバス：7,172人</td> <td>[目標値(令和8年)] 高陵交通：15,842人(50%増加) つのバス：10,041人(40%増加)</td> </tr> </table> <p>●目標2：公共交通網の公的負担額の改善につなげる</p> <table border="1" data-bbox="2027 457 2816 579"> <tr> <td>[現況値(令和3年度)] 高陵交通：1,655円/人 つのバス：3,483円/人</td> <td>[目標値(令和8年度)] 高陵交通：1,200円/人 つのバス：2,500円/人</td> </tr> </table> <p>●目標3：つのバスの収支率を改善させる</p> <table border="1" data-bbox="2027 640 2816 722"> <tr> <td>[現況値(令和3年度)] つのバスの収支率：3.3%</td> <td>[目標値(令和8年度)] つのバスの収支率：8.0%</td> </tr> </table> <p>●目標4：交通結節点における路線バス乗降者数が増加する</p> <table border="1" data-bbox="2027 783 2816 963"> <tr> <td>[現況値(令和2年)] ■ 葉山小学校前：787人 (乗車：423人、降車：364人) ■ 新田・東津野役場前：1,373人 (乗車：713人、降車：660人)</td> <td>[目標値(令和8年)] ■ 葉山小学校前：1,102人 ■ 新田・東津野役場前：2,060人</td> </tr> </table> <p>●目標5：地域の移動ニーズを把握する</p> <table border="1" data-bbox="2027 1024 2816 1115"> <tr> <td>[現況値(令和3年度)] 8地区で開催</td> <td>[目標値(令和8年度)] 毎年：10地区以上で開催</td> </tr> </table> <p>●目標6：I Cカードですかの所持者数が増加する</p> <table border="1" data-bbox="2027 1176 2816 1383"> <tr> <td>[現況値(令和3年1月)] 合計：231枚 大人カード：110枚 小児カード：5枚 ナイスエイジ：116枚</td> <td>[目標値(令和8年度)] 令和5年1月：231枚 令和6年1月：277枚 令和7年1月：332枚 令和8年1月：398枚 令和9年1月：478枚</td> </tr> </table> <p>●目標7：年間宿泊客数を増加させる</p> <table border="1" data-bbox="2027 1444 2816 1572"> <tr> <td>[現況値(令和2年度)] 令和2年度：4,425人</td> <td>[目標値(令和8年度)] 令和6年度に13,000人 令和8年度に15,000人</td> </tr> </table>	[現況値(令和2年)] 高陵交通：10,561人 つのバス：7,172人	[目標値(令和8年)] 高陵交通：15,842人(50%増加) つのバス：10,041人(40%増加)	[現況値(令和3年度)] 高陵交通：1,655円/人 つのバス：3,483円/人	[目標値(令和8年度)] 高陵交通：1,200円/人 つのバス：2,500円/人	[現況値(令和3年度)] つのバスの収支率：3.3%	[目標値(令和8年度)] つのバスの収支率：8.0%	[現況値(令和2年)] ■ 葉山小学校前：787人 (乗車：423人、降車：364人) ■ 新田・東津野役場前：1,373人 (乗車：713人、降車：660人)	[目標値(令和8年)] ■ 葉山小学校前：1,102人 ■ 新田・東津野役場前：2,060人	[現況値(令和3年度)] 8地区で開催	[目標値(令和8年度)] 毎年：10地区以上で開催	[現況値(令和3年1月)] 合計：231枚 大人カード：110枚 小児カード：5枚 ナイスエイジ：116枚	[目標値(令和8年度)] 令和5年1月：231枚 令和6年1月：277枚 令和7年1月：332枚 令和8年1月：398枚 令和9年1月：478枚	[現況値(令和2年度)] 令和2年度：4,425人	[目標値(令和8年度)] 令和6年度に13,000人 令和8年度に15,000人
[現況値(令和2年)] 高陵交通：10,561人 つのバス：7,172人	[目標値(令和8年)] 高陵交通：15,842人(50%増加) つのバス：10,041人(40%増加)																	
[現況値(令和3年度)] 高陵交通：1,655円/人 つのバス：3,483円/人	[目標値(令和8年度)] 高陵交通：1,200円/人 つのバス：2,500円/人																	
[現況値(令和3年度)] つのバスの収支率：3.3%	[目標値(令和8年度)] つのバスの収支率：8.0%																	
[現況値(令和2年)] ■ 葉山小学校前：787人 (乗車：423人、降車：364人) ■ 新田・東津野役場前：1,373人 (乗車：713人、降車：660人)	[目標値(令和8年)] ■ 葉山小学校前：1,102人 ■ 新田・東津野役場前：2,060人																	
[現況値(令和3年度)] 8地区で開催	[目標値(令和8年度)] 毎年：10地区以上で開催																	
[現況値(令和3年1月)] 合計：231枚 大人カード：110枚 小児カード：5枚 ナイスエイジ：116枚	[目標値(令和8年度)] 令和5年1月：231枚 令和6年1月：277枚 令和7年1月：332枚 令和8年1月：398枚 令和9年1月：478枚																	
[現況値(令和2年度)] 令和2年度：4,425人	[目標値(令和8年度)] 令和6年度に13,000人 令和8年度に15,000人																	

18.四万十町「四万十町地域公共交通網形成計画」(令和2年3月)

課題	基本方針 (将来像)	目標	施策	評価指標・目標値
<ul style="list-style-type: none"> ・ 課題1 人が減ることから生じる不安を払拭できる取り組み ・ 課題2 地域との対話を通じて公共交通網を便利に高めていく仕掛け ・ 課題3 誰もが利用しやすい移動手段の確保 ・ 課題4 誰もが公共交通に慣れることができる仕組みづくり ・ 課題5 公共交通空白地区解消とその維持 ・ 課題6 運行ダイヤの沿線の移動ニーズとの整合 ・ 課題7 乗り換え拠点における移動手段同士の連携強化 ・ 課題8 乗り換え時間を快適に過ごせる場所の整備 ・ 課題9 鉄道駅における利用環境の改善 ・ 課題10 誰もが分かりやすいと感じる情報発信(施設掲示、バス停掲示、冊子) ・ 課題11 公共交通網に関する情報のワンストップ拠点の整備 ・ 課題12 公共交通利用者の意見や要望を受け取る仕組みづくり ・ 課題13 多様な世代が公共交通を利用する機会の創出 ・ 課題14 乗務員の安定した確保 	<p>将来像 四万十町の元気を支え、自然に優しく、四万十町に関わる人々と共に成長する交通まちづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 基本方針1 利便性の高い公共交通網の整備 ● 基本方針2 持続する公共交通網の確立 ● 基本方針3 まちづくりと連携する公共交通網 	<p>基本方針1</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 【目標1】 公共交通空白地区に暮らす移動制約者を出現させない ・ 【目標2】 町内の鉄道、路線バス及びコミュニティバスの年間利用者数が前年実績を維持していく <p>基本方針2</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 【目標1】 路線バス(定期外)とコミュニティバスの利用者数を増やす ・ 【目標2】 町内の乗務員数(バス・タクシー)が必要数を下回らない <p>基本方針3</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 【目標1】 ICカードですかを所持する人を増やす ・ 【目標2】 鉄道の利用者数(定期外)を増やす 	<p>基本方針1</p> <ul style="list-style-type: none"> 1-1: 全ての人が便利に利用できる公共交通網の構築 1-1-①: 公共交通空白地区の解消 1-1-②: 窪川地域中心部と大正地域中心部における移動制約者への対応 1-1-③: 興津地区における新しい移動手段の導入検討 1-1-④: 地域の移動ニーズを反映した路線の適正配置 1-1-⑤: 地域の移動ニーズを反映した運行ダイヤ 1-2: 公共交通網の連携による利便性向上 1-2-①: 乗り換え拠点におけるダイヤ連携 1-2-②: 窪川-大正-十和間における高度な連携 1-3: 分かりやすい公共交通網の情報発信 1-3-①: 分かりやすい施設掲示 1-3-②: 分かりやすいバス停掲示 1-3-③: 分かりやすい情報冊子の作成 1-3-④: WEBを通じた情報発信 1-4: 安全・快適に利用できる公共交通網 1-4-①: 待ち合い所の整備 1-4-②: 駅の利便性及び快適性確保 <p>基本方針2</p> <ul style="list-style-type: none"> 2-1: 地域との定期的な対話を通じた利用促進 2-1-①: 地区別意見交換会の定期開催 2-1-②: 利用者懇談会の定期開催 2-2: 多様な世代が地域の公共交通に関わる機会の創出 2-2-①: バス乗り方教室の開催 2-2-②: 集客イベントなどへの出展 2-2-③: 高齢者を対象としたおでかけイベントの開催 2-3: 運行の担い手確保 2-3-①: 乗務員確保への支援 <p>基本方針3</p> <ul style="list-style-type: none"> 3-1: 地域から地域情報や要望事項を行政に伝える仕組みづくり 3-1-①: 地域から地域情報を知らせる仕組みづくり 3-2: 公共交通以外の移動手段との連携 3-2-①: 福祉輸送サービスが展開できる仕組みづくり 3-2-②: 通院送迎バスとの連携 3-2-③: スクールバスとの連携 3-2-④: 貨客混載の可能性検討 3-3: 観光との連携 3-3-①: 公共交通を使って地域を楽しむ提案 3-3-②: 風景を造る 3-4: 学校との連携 3-4-①: 公共交通を使った学習機会の提供 3-5: 福祉との連携 3-5-①: 運転免許証返納に関する正しい情報の継続的発信 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 基本方針1、目標1 公共交通空白地区に暮らす移動手段の持たない世帯数低減 ■ 基本方針1、目標2 鉄道、路線バスとコミュニティバスについて、年間利用者数が前年実績を維持 ■ 基本方針2、目標1 コミュニティバスと路線バスの年間利用者数が前年実績を維持 ■ 基本方針2、目標2 ・ 町内とバス、タクシー事業に必要な乗務員数を確保 ■ 基本方針3、目標1 ICカードですか所有者数が前年度より10%増加 ■ 基本方針3、目標2 鉄道駅の年間利用者数が前年実績を増加

19.大月町「大月町地域公共交通網形成計画」(令和2年3月)

課題	基本方針 (将来像)	目標	施策	評価指標・目標値
<ul style="list-style-type: none"> 課題1：公共交通利用者数の減少 課題2：効率的で効果的な公共交通体系の構築 課題3：まちづくりと公共交通体系との一体的な展開 課題4：観光振興に資する公共交通体系の構築 課題5：住民・交通事業者行政による行政による推進体制の強化 	<p>【基本理念】 安心で健全な暮らしを支え、まちの活力を生む生活基盤として、みんなで使い続ける持続可能な公共交通を構築します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●基本方針1：公共交通網の再編 ●基本方針2：公共交通網の利用促進 ●基本方針3：地域で守り、地域を支える公共交通 	<ul style="list-style-type: none"> ●目標1：地域の安心な生活を支える利便性の高い公共交通の実現 ●目標2：効率的で地域に合った持続可能な公共交通の実現 ●目標3：地域との連携による活発な利用に支えられた公共交通の実現 	<ul style="list-style-type: none"> 1-1：効率的な公共交通ネットワークの形成 1-2：利用状況に応じた利便性の高い交通の導入 1-3：まちなか連絡交通の強化 1-4：広域連携交通の維持・改善 2-1：公共交通の利便性向上 2-2：利用しやすい料金制度の検討 3-1：地域で支える公共交通の枠組作り 3-2：地域で支える公共交通の実現に向けた検討 3-3：積極的な公共交通情報の発信 3-4：公共交通利用への意識啓発の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ●1-2： <ul style="list-style-type: none"> 評価指標：利用状況に応じた新たな交通モードの導入 目標値：2区域 ●1-3： <ul style="list-style-type: none"> 評価指標：まちなか連絡線(仮称)の利用者数 目標値：児童生徒数を除いた乗降客数の1割の利用 ●2-1： <ul style="list-style-type: none"> 評価指標：地域公共交通サービスに関する満足度 目標値：67% ●評価指標：利用環境の改善数 ●目標値：3施設 ●3-1： <ul style="list-style-type: none"> 評価指標：地域を主体とした交通モードの導入 目標値：1件 ●3-3： <ul style="list-style-type: none"> 評価指標：自家用車中心の生活から公共交通中心の生活への転換 目標値：55%(公共交通中心の生活者、時々転換可能者/全回答者数) ●3-4： <ul style="list-style-type: none"> 評価指標：公共交通に関する住民との情報・意見交換 目標値：年間1回 各地域ごと

20.三原村「三原村地域公共交通計画」(令和4年3月)

課題	基本方針 (将来像)	目標	施策	評価指標・目標値
<ul style="list-style-type: none"> 1.住み慣れた土地で生活を続けるための移動サービスの確保 2.外出機会の創出 3.みはらのじまんやと移動手段の連携 4.医療機関への通院手段の確保 5.村外への通学者の支援 6.お遍路さんを含めた観光客への対応 7.運転免許の自主返納と移動手段の確保 8.環境への配慮 9.平田駅における鉄道及び路線バスとの接続 10.公共交通に関する情報の体系的な発信 11.三原バスの運行形態の見直しの検討 12.利用者ニーズに応じた三原バスの運行 13.三原バスの安全性向上の検討 14.三原バスのバス停の改善検討 15.三原バスの運転手確保 16.三原バスの車内環境の改善 17.三原バスを補完する移動サービスとの組合せ 18.タクシー利用環境の維持 	<p>【基本方針】 公共交通網が社会基盤の一つとして機能することで、村民は住み慣れた地区で安心して暮らし続けることができ、様々な移動ニーズや制約を持つ来訪者が訪れることができる三原村を目指す。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●目標1：全村民が移動手段を確保 ●目標2：誰もが便利で利用しやすい公共交通網の構築 ●目標3：健全な公共交通施策の運営 ●目標4：人が集まり活気がある三原村づくり ●目標5：来訪者にも優しい公共交通網の構築 ●目標6：安全安心な移動環境の確保 ●目標7：環境への配慮 	<ul style="list-style-type: none"> 1-1：定期的な運行の見直し 1-2：補完する移動手段の確立 1-3：交通事業者との連携強化 1-4：交通結節点の整備 1-5：福祉輸送の活用 1-6：福祉タクシー利用券の利用環境確保 1-7：三原バス車両の更新 1-8：運転手の確保 2-1：公共交通に関する説明及び意見交換 2-2：DXの推進 2-3：おでかけイベントの実施 3-1：パーク&サイクルライドの構築 3-2：安全性向上に関する取組み 3-3：運転免許自主返納に関する情報発信 3-4：通学支援 3-5：レンタサイクルの利活用 	<ul style="list-style-type: none"> ●目標1： <ul style="list-style-type: none"> 三原バス利用困難地区の確認 [目標]三原バス利用困難地区数の抽出 三原バス利用困難地区における移動手段の確保 [目標]地区住民が確保した移動手段：1以上 ●目標2：三原バスの利用者数の検証 [目標]人口当たりの利用者数の維持とする。 ●目標3：三原バスの公的資金投入額と収支率【現状維持】 ●目標4：みはらのじまんの直販販売額と及び公民館利用回数 [目標]みはらのじまんやでの直販販売額(単年) 公民館利用回数(単年)：令和6年度40回 ※三原村創生総合戦略に定められた目標値を採用。 ●目標5：情報発信施策の持続的な実行 [目標]三原バス時刻表等のホームページ掲載 三原バスGTFSデータの整備・更新 三原バスの多言語化対応 レンタサイクルのホームページ掲載 レンタサイクルのGoogleビジネスプロフィール掲載 ●目標6：三原バス周辺環境の改善と情報発信回数 [目標]危険なバス停の削減：令和8年度にゼロ。 道路改良率の向上：設定なし 公共交通お試しイベントの回数： 令和4年度1回 令和5年度以降 年2回 免許返納の情報発信回数：村広報誌へ毎年1回 ●目標7：車両更新計画の実行と自転車の利活用 [目標]：令和4年度に計画作成、以後は計画の実行 パーク&サイクルライドの利用者数：--- レンタサイクルの利用者数：令和8年度25人 参考：令和2年度の実績値：10人

21.黒潮町「黒潮町地域公共交通計画」(令和4年3月)

課題	基本方針 (将来像)	目標	施策	評価指標・目標値
<ul style="list-style-type: none"> 課題1：もっと使いやすい公共交通への転換 課題2：町民と公共交通を近づける 課題3：公共交通そのもののイメージアップ 課題4：収支の視点も踏まえた公共交通網の改善 課題5：様々な主体との連携による利便性と魅力の向上 課題6：隣接する自治体との広域連携 	<p>【将来像】 「健全な町民生活と来訪者の活動を支え、地域の活性化に欠かせない社会基盤として、将来にわたり持続可能な公共交通を構築する」</p> <ul style="list-style-type: none"> ●基本方針1：利用しやすい公共交通網の構築 ●基本方針2：安定して持続する公共交通網の実現 ●基本方針3：公共交通網の利用促進 ●基本方針4：地域を挙げて地域のために活かす公共交通網 	<ul style="list-style-type: none"> ●目標1：鉄道が町民の生活を支えるインフラとして機能する ●目標2：路線バスが町民の生活を支えるインフラとして機能する ●目標3：路線バスへの公的負担額が効果的に支出され、収支が改善する ●目標4：ICカードですかを所持する人が増加する ●目標5：住民との意見交換会を定期的に開催 ●目標6：多くの人が鉄道の利用経験を得る ●目標7：多くの人が路線バスの利用経験を得る ●目標8：主要集客施設最寄りバス停の乗降者数が増加する ●目標9：町内で買い物をする人が増加する ●目標10：高齢者が関係する事故が減少する 	<ul style="list-style-type: none"> ●基本方針1 <ul style="list-style-type: none"> 1-1：公共交道路線網の再構築 1-2：運行ダイヤの再構築 1-3：交通結節点機能の強化 1-4：わかりやすいバス停情報掲示 1-5：わかりやすい公共交通情報の発信 1-6：利用しやすく公平な運賃体系の構築 1-7：バスを快適に待つことのできる施設整備 1-8：公共交通網及び関連施設におけるバリアフリー推進 ●基本方針2 <ul style="list-style-type: none"> 2-1：バス路線の在り方を考える協議 2-2：タクシー事業の持続支援とサービス拡充 2-3：乗務員確保と接客向上 2-4：地域から声を上げる仕組みづくり ●基本方針3 <ul style="list-style-type: none"> 3-1：住民との対話を通じた公共交通網の改善 3-2：利用者との定期的な対話を通じた公共交通網の改善 3-3：公共交通利用への背中を押す仕掛け ●基本方針4 <ul style="list-style-type: none"> 4-1：商業施設との連携 4-2：病院施設との連携 4-3：人が集まる場の創出 4-4：交通安全施策との連携 4-5：来訪者の町内移動を支援する仕組みづくり 4-6：環境にやさしいまちづくりとの連携 4-7：大規模災害からの計画的な復興に活用 	<ul style="list-style-type: none"> ●目標1：町内の駅利用者数(土佐くろしお鉄道)の合計現状(R2) 113,711人⇒目標値(R8)：150,000人 ●目標2：町内を運行する路線バス(デマンドバス含む)利用者数の合計：目標値(令和8年度)：25,000人 ●目標3 利用者1人当たりの公的負担額 公的負担額 目標値(令和8年度)：2,500円未満 収支率 目標値(令和8年度)：8.0%を超える ●目標4 ICカードですかの所持する人が、令和5年に20%、令和6年に50%、翌年度以降は毎年20%増加する。 目標値(令和9年1月)：222人を超える ●目標5 住民との生活交通手段に関する意見交換会開催回数 目標値(5年間)：通算50ヶ所以上 ●目標6 過去3年以内に町内の駅にて鉄道を利用(乗車または降車)したことがある人の割合 目標値(令和8年度)：50.0%を超える ●目標7 過去3年以内に町内で路線バスを利用(乗車または降車)したことがある人の割合が増加する。 目標値(令和8年度)：40.0%を超える ●目標8 本町中心部の主要集客施設と公共交通網の連携が進み、最寄りバス停の乗降者数が増加する。対象停留所の1日当たり乗降者数の合計にて評価する。 目標値(令和8年度)：30.0人/日を超える ●目標9 県民消費動向調査(高知県)より、本町の最寄品の地元購買率が上昇する。 目標値(令和8年度)：60.0%を超える ●目標10 中村警察署のデータをもとに検証を行う。公共交通網の利便性向上と利用促進により、無理に車を利用しなくて済むため、高齢者が関係する交通事故(人身事故と物損事故)が減少する。 目標値(令和9年1月)：36件(50%減)

22.高知県東部「高知県東部広域地域公共交通網形成計画」(令和3年3月)(第2版)

課題	基本方針 (将来像)	目標	施策	評価指標・目標値
<ul style="list-style-type: none"> 課題1：利用者が少ない路線や便の存在課題2：生徒や高齢者のニーズへの対応 課題3：観光客のニーズとの隔たり 課題4：まちづくりとの連携 課題5：利用者ニーズに応えるための交通資源の確保 	<ul style="list-style-type: none"> ●基本方針1：地域内の公共交通(バス、鉄道、タクシー等)が連携し、「使いやすい」公共交通を目指します ●基本方針2：地域住民の生活(通勤・通学、通院等)や地域に訪れる方の移動で「使える」公共交通を目指します ●基本方針3：公共交通の利用環境(待合施設、車内環境、各種サービス等)を強化し、「使いたくなる」公共交通を目指します 	<ul style="list-style-type: none"> ●目標1：市町村内・地域内・地域外のそれぞれの移動ニーズにあわせた公共交通ネットワークの再構築 ●目標2：異なる交通モード間のスムーズな乗換環境の整備 ●目標3：地域の観光資源を生かすための公共交通利用環境の改善 ●目標4：持続可能な公共交通運行に向けた交通資源の見直し ●目標5：新たな公共交通利用者確保に向けた利用促進策の実施 	<p>【主要施策】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①：既存バス路線網の改善 ②：地域内と高知龍馬空港を結ぶ移動手段の検討 ③：あき総合病院前駅（仮称）の設置 <p>【補助施策】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①：交通結節点の強化 ②：利用促進の強化 ③：需要量にあわせた運行形態の見直し ④：人材確保に向けた広報・啓発 ⑤：新たな交通モードへの対応 	<ul style="list-style-type: none"> ●15歳以上通勤・通学者の鉄道・乗合バス利用率 目標値：7.9%以上(2024.3時点) ●路線バスの1日あたり乗客数 目標値：現状維持(2024.3時点) ●新たな交通結節点・地域拠点へのバス路線の乗り入れ 目標値：2箇所(2024.3時点) ●来訪者の地域内における公共交通利用率 目標値：11.5%以上(2024.3時点) ●ごめん・なはり線の平日1日あたり利用者数 目標値：2,203人/日以上(2024.3時点) ●ごめん・なはり線の朝ピーク時乗車率 目標値：93.6%以下(2024.3時点) ●業界専門の就職イベントへの参加回数(土佐くろしお鉄道・高知東部交通) 目標値：各2回/年以上(2024.3時点) ●交通事業者の新規採用数(高知東部交通) 目標値：4名以上(2024.3時点)

23.高知県嶺北地域「高知県嶺北地域公共交通網形成計画」(平成31年3月)

課題	基本方針 (将来像)	目標	施策	評価指標・目標値
<ul style="list-style-type: none"> 課題1：路線バスの運賃が高い、バスと鉄道の乗継が悪い、福祉バス・タクシー等の制度の周知不足(本山町) 課題2：普通列車の場合、行き違いのための退避待ち等で時間がかかる。特急の場合、停車する遠方の駅(大杉駅)まで送迎が必要(大豊町) 課題3：福祉バス・タクシー等の制度の申請が面倒(土佐町) 課題4：路線バスまでの移動手段がない、スクールバスへの混乗ができていない(大川村) 課題5：「乗りたい時間帯の運行」に対する不満が多い(路線バス) 課題6：「乗りたい時間帯の運行」、「普通・特急列車の運行本数」、「特急列車の停車駅数」、「他の交通手段との乗り継ぎ」に対する不満が高い(鉄道) 課題7：運転手の不足(交通事業者) 	<ul style="list-style-type: none"> ●基本方針1：嶺北地域内で自家用車に頼らずに暮らしていけるための公共交通手段を整えます ●基本方針2：嶺北地域外と便利に行き来できるように幹線及び乗り継ぎ拠点の整備を行います ●基本方針3：公共交通の利用を促進し、持続可能な公共交通を目指します 	<ul style="list-style-type: none"> ●目標1：連携した交通手段による嶺北地域内の公共交通ネットワークの形成 ●目標2：移動のしやすさを目指した嶺北地域外との公共交通体系の整備 ●目標3：誇りと愛着のある公共交通となるための取組みの推進 ●目標4：暮らしを支える公共交通の利用環境の整備 	<p>【主要施策】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①：公共交通を使った嶺北地域内の移動がより便利になるよう、公共交通ネットワークを見直します ②：公共交通を使って嶺北地域から(へ)の移動のしやすさを確保します <p>【補助施策】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①：ここに来れば公共交通で「おでかけしたくなる」スポットをつくります ②：地域の皆さんと一緒に「利用したくなる」バスをつくります ③：皆さんに公共交通をより「利用してもらえる」よう取り組みます ④：地域交通を担うバス・タクシー運転者の確保に取り組みます ⑤：家からバス停・JRの駅まで来てもらえるよう、パークアンドライドやコミュニティバス・タクシーなどの移動手段等を整備します 	<ul style="list-style-type: none"> ●目標1： <ul style="list-style-type: none"> ・田井～大杉間間の平日の路線バスの1日の利用者数：現状以上 ・町村内の公共交通ネットワーク形成状況：住民ニーズに合わせた適切な運行の実施 ●目標2： <ul style="list-style-type: none"> ・JR大杉駅で定期券を利用して乗車した1日平均人数：現状以上 ・路線バスの田井～大杉間での定期券購入者の実人数：現状以上(H36(2023年)3月時点) ・路線バスによる大杉駅(大杉駅前含む)への利用者数：現状以上 ●目標3-1： <ul style="list-style-type: none"> ・バスの乗り方教室の開催回数：1回/年以上 ・バスの乗り方教室の参加者の満足度：80%以上 ●目標4： <ul style="list-style-type: none"> ・おでかけスポット（仮称）の整備箇所数：4箇所以上 ・嶺北高校生生徒の通学方法からバスを利用している割合 目標値：10%以上